

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県古河市

自治体名： 茨城県古河市

担当課名： 教育部 スポーツ振興課

電話番号： 0280-22-5111(内線2213)

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	124 km ²
人口	139,113 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	3,127 人
部活動数 (運動部活動のみ)	78 部活
地域クラブ活動数	7 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

現在、古河市の運動部活動は、78部活が活動している。市内小中学校では生徒数の減少に伴い、部活動を生徒に望ましい形で継続していくことが厳しい状況にある。

生徒がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保と、学校における働き方改革の実現を図る観点から、学校部活動を地域クラブ活動に展開していく。

そのような中、古河市では「令和10年度から休日の中学校部活動を地域クラブの活動へ展開する」方針を示している。 ※休日は学校主体での部活動は行わない。

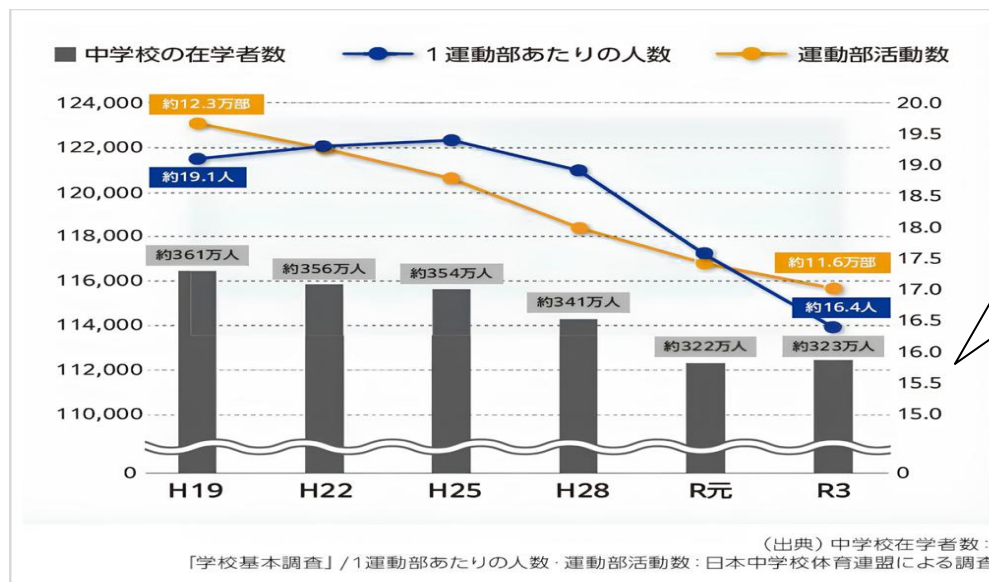
令和6年度(実証事業)

・総和北中、三和中、三和北中、三和東中のサッカー部が地域移行の取り組みを始める。

令和7年度(実証事業)

・総和中、総和北中、三和中、三和北中、三和東中の「サッカー部」が地域移行の取り組みを始める。

・古河一中、古河二中、古河三中の「野球部」が地域移行の取り組みを始める。

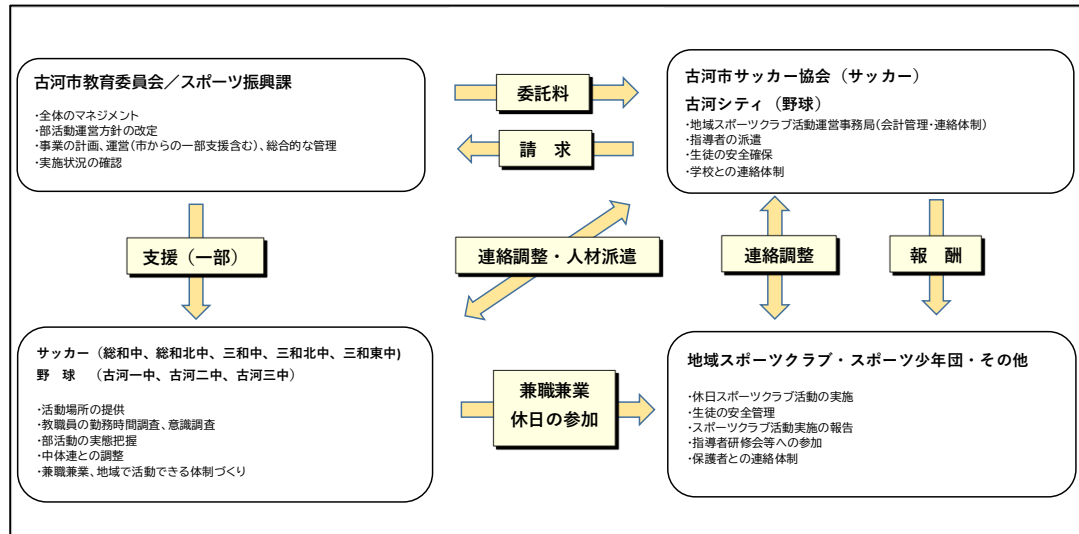


中学生の部活動は部活動数も部員も減少しており、このまま減少を続ければ、特にチーム競技は限界を迎える。(全国的な問題)

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会(スポーツ振興課)

- ・教育総務課・・・部活動改革の主幹、学校との調整・連携・学校に関する事項について
- ・指導課・・・学校との調整・連携・学校に関する事項について
- ・スポーツ振興課、文化振興課・・・中学生の地域スポーツ・文化活動の環境整備

◎首長部局(財政課)

- ・予算措置

◎コーディネーター(教育委員会が任命)

- ・指導者の質の保障及び量の確保
- ・地域クラブの運営体制の整備及び持続可能な運営ができる組織体制の整備
- ・スポーツ関係団体、中学校、保護者等との連絡調整

年間の事業スケジュール

令和7年4月	第1回調整会議 (種目:サッカー) (種目:野球)
令和7年5月	ワーキングチーム会議 (2回程度)
令和7年6月	第2回調整会議 (種目:サッカー) (種目:野球)
令和7年7月	実証事業の実施 (種目:野球) ワーキング会議 (2回程度)
令和7年8月	実証事業の実施 (種目:サッカー) ワーキング会議 (2回程度)
令和7年11月	プロジェクト会議 ワーキング会議 第3回調整会議 (種目:サッカー) (種目:野球)
令和7年12月	プロジェクト会議
令和8年1月	アンケート実施
令和8年2月	第1回推進協議会
令和8年3月	第4回調整会議 (種目:サッカー) (種目:野球)

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		古河サッカースポーツクラブ、古河ベースボールクラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	2クラブ（8 部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	7 人	全体の運営スタッフ数	4 人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
古河サッカークラブ	競技団体	サッカー	休日(3回/月)	9時～12時	92名 (1年生43名、 2年生34名、 3年生15人)	R7.8月～ R8.2月	4 人	2 人 (内、兼務2人)	300 円/ 回	中体連：部活動 その他：地域クラブ
古河ベースボールクラブ	競技団体	野球	休日(3回/月)	9時～12時	21名 (1年生10名、 2年生11名)	R7.8月～ R8.2月	3人	2人 (内、兼務0人)	300 円/ 回	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 「実施なし」 マルチスポーツの体験会や多世代参加の取組など。

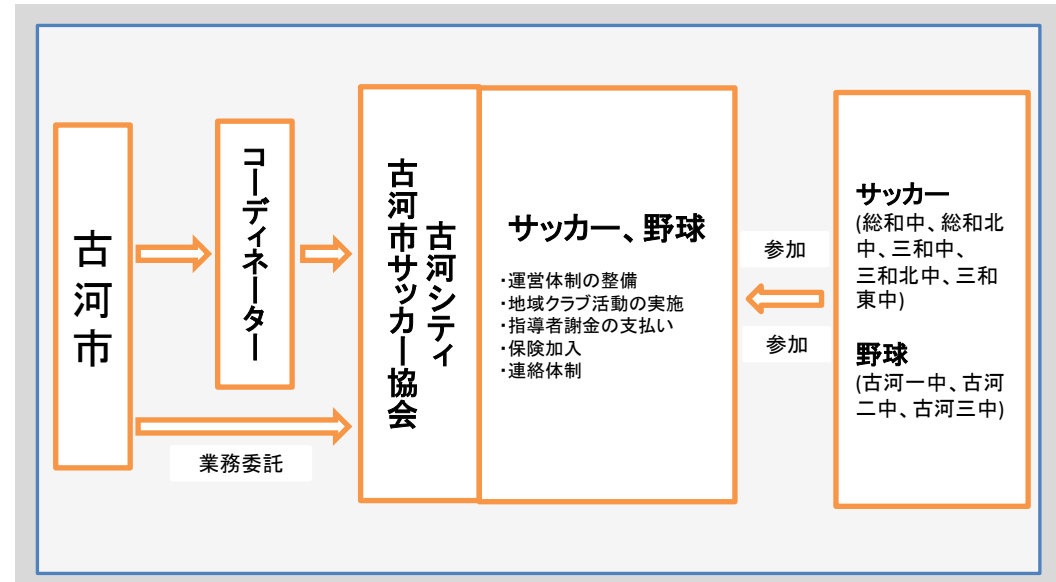
2.実証内容と成果

主な取組例

●古河サッカークラブ/古河ベースボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー、野球
運営団体名	古河市サッカー協会(古河サッカークラブ) 古河シティ(古河ベースボールクラブ)
期間と日数	サッカー：月3回程度 野 球：月3回程度
指導者の主な属性	古河シティFC(古河市サッカー協会) 古河ベースボールクラブ
活動場所	サッカー(小堤サッカー広場) 野球(古河二中校庭)
主な移動手段	自転車 自家用車(保護者等による送迎)
1人あたりの参加会費等(1回)	サッカー：300円 野 球：300円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体(古河市)

役割：実証事業を通して「地域スポーツが続けられる土台を構築(スキーム)」する。

●統括責任者

役割：活動における管理者として、学校・保護者との連携(連絡・調整)を行う。

●主任指導者

役割：活動において、統括責任者の補助として指導(知識・技術・行動)を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 広域的な活動を行うコーディネーターを2名配置(サッカー・野球)し、中学校・関係団体・市教育委員会との連絡調整・指導助言等を行う。
- 運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。
- 参加者管理、会費徴収、参加者・保護者・指導者への連絡、会場の確保・調整、会計業務を行う。

取組の成果

○関係者との連絡調整の成果

学校、保護者、地域住民、民間スポーツ団体、行政（教育委員会やスポーツ振興課）など、これまでバラバラだったステークホルダーをつなぐ体制ができた。また、指導助言の体制や運営団体の成果として、質の高い指導者を安定して確保し、クラブを健全にマネジメントする仕組み（ガバナンス）ができたことによる成果である。

○スポーツクラブ活動アプリの活用により、参加者・保護者・指導者への連絡体制が円滑に行うことができた。

また、利用者アンケートの結果、回答者の約73%の満足度を得ることができた。

今後の取組における課題

- コーディネーターを運営団体に配置(サッカー・野球)したことにより、中学校・関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。
- 公的支援の対象とする地域クラブの基準がないため、今後、都道府県が示した地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、登録・指導等を実施する必要がある。
- コーディネート業務を担う人材の発掘・育成・資質向上を図る方策の検討を行う。

課題への対応方針

ワーキングチーム、プロジェクトチーム、推進協議会において、地域スポーツクラブ活動実施へのプロセスを構築する。

- ・「指導者の確保」
- ・「活動場所・備品の確保」
- ・「運営体制・大会参加の規則」
- ・「指導者報酬・受益者負担・市からの補助金」
- ・「安全確保・格差是正・相談窓口」

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・行政、学校、保護者、関係団体等の情報共有、連絡調整、会場確保、活動指導方針等を示し、「子どもたちにとって一番いい形で地域展開すること」を理念に連絡調整、活動を行う。
- ・サッカー：10ヶ月(合計265h)
- ・野球：10ヶ月(合計140h)

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・地域スポーツクラブ活動の指導者や参加者との連絡・調整
- ・参加者の出欠、活動の実施報告へのコミュニケーションアプリ等の活用
- ・運営体制の一元化と見える化
- ・行政・学校・地域の役割分担の明確化
- ・財務の標準モデル化

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営を行っている。
- ・法令等に基づく事業運営、公正かつ適切な会計処理等に向け、具体的な取組内容(活動前の健康チェック、AED設置場所の共有、救急対応マニュアル整備、指導者への救急講習受講の推奨、練習会場の危険箇所点検、熱中症対策等)

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

基本方針

- ・人命・安全の最優先(参加者・指導者の生命・身体的安全確保を最優先とする)
- ・迅速かつ的確な初動対応(迷わず救急対応・関係機関へ通報)
- ・組織としての責任ある対応(個人判断に委ねず、クラブ・自治体が一体となって対応)
- ・誠実な説明責任(保護者・関係者へ事実を正確に説明)
- ・再発防止の徹底(原因分析と改善策の明文化)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

○指導者等に対して、資質の向上を含めた研修の開催はできなかったが、持続可能な運営体制を構築するために指導者にアンケートを実施した。

人材バンクの人数

・人材バンク制度「実施なし」

人材バンクの年齢構成

・人材バンク制度「実施なし」

種目

・サッカー、野球

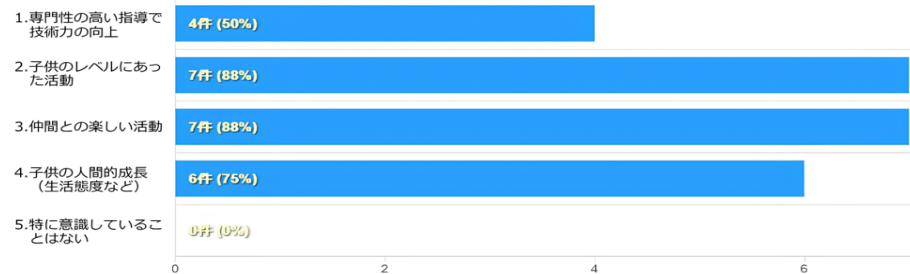
資格有無

・指導者「指導者資格取得あり」

取組の成果

指導者アンケートの結果

どのようなことを意識しながら地域スポーツクラブの実証事業活動での指導にあたっていますか。あてはまるものをすべて回答してください。

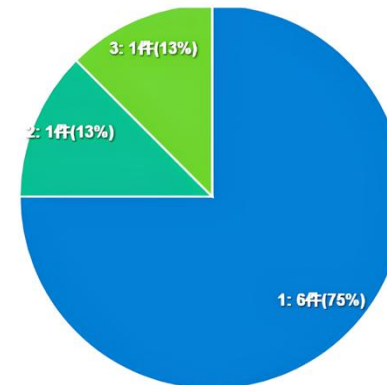


今後の取組における課題、課題への対応方針

○アンケート結果を踏まえて指導者研修を必須とするか検討し、今後どの水準まで質を求めるかについて課題がある。また、平日と休日の指導者間の効率的・効果的な連携方策について検討する必要がある。

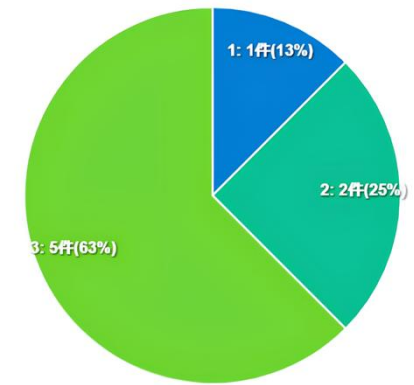
○課題への対応方針は、安全・安心・発達段階に応じた指導を継続的に保証する体制づくりを構築する。

スポーツ指導に係る資格を取得する予定はありますか。



● 1. すでに取得している
● 2. 取得中／取得予定である
● 3. 取得する予定はない

審判資格を取得する予定はありますか。



● 1. すでに取得している
● 2. 取得中／取得予定である
● 3. 取得する予定はない

出典：古河市地域スポーツクラブ実証事業 アンケート調査

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校と連携して進めていくため、中学校の校長会やスポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会等において、市の取り組み及び今後の見通し等の説明を実施した。

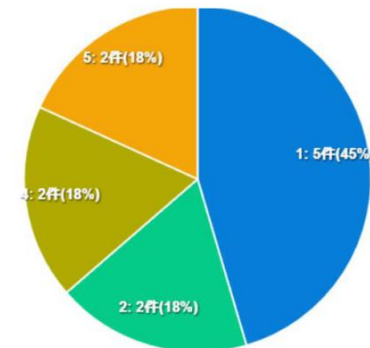
取組の成果

○中学校校長会・スポーツ協会・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会等において説明して協力を求めることで、市内中学校のすべての生徒や関係団体に事前周知やチラシの配布を行うことができた。

○地域のスポーツ団体の協力を得て、当日運営の補助を行った。

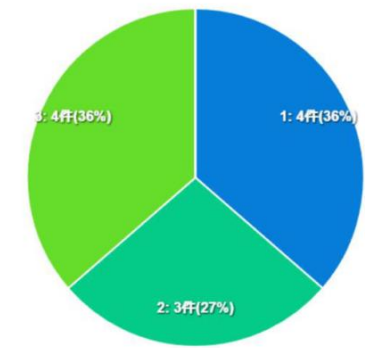
○各運営主体が活動するときは、指導者が競技種目の指導のみに集中できるよう、会場の施設や事前準備、参加者の出欠確認などを行う運営補助を古河市スポーツ協会の加盟団体で行い、地域一体となって運動部活動の地域移行に向けた環境づくりを進めた。

地域スポーツクラブ実証事業にどれくらい参加していますか。



- 1. 毎回参加している (9割以上)
- 2. だいたい参加している (7~8割程度)
- 3. 半分くらい参加している (4~6割程度)
- 4. あまり参加していない (2~3割程度)
- 5. ほとんど参加していない (1割以下)

現在の活動回数は、どのように感じていますか。



- 1. 多いと思う
- 2. どちらかといえば多いと思う
- 3. ちょうど良いと感じる
- 4. どちらかといえば少ないと思う
- 5. 少ないと思う

出典：古河市地域スポーツクラブ実証事業 アンケート調査

今後の取組における課題、課題への対応方針

○競技団体や総合型地域クラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化(多分野連携の推進)を図ることが課題である。

○運営の効率化を図るため、引き続きアプリを活用した運営の周知を図りながら、連携プラットフォームの構築を目指していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

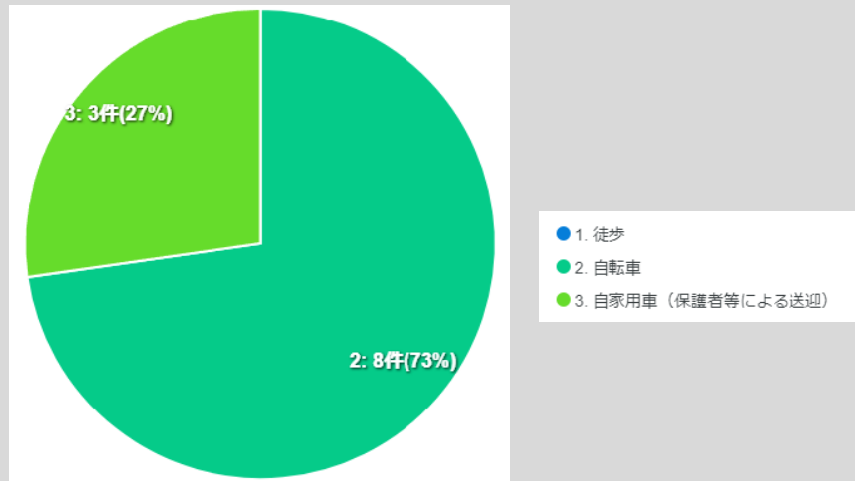
●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

地域公共交通との連携に関する取組

○バスの運行の取組（実績なし）

○バスの運行の経費・収入（実績なし）

地域スポーツクラブ実証事業 活動場所までの移動手段は何ですか。



出典：古河市地域スポーツクラブ実証事業 アンケート調査

関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組

○指導者（指導人材）の確保と組織化への協力

スポーツクラブの受け皿を強固にするため、関係団体から指導者を募る連携を主導するため、人材の掘り起こしとして地域の体育・スポーツ協会、種目別の競技団体、大学、民間クラブ等と連携し、指導者として活動できる人材（元アスリートや地域の有資格者など）と連携を図りながら、スポーツ推進委員自身がこれまでに培った専門知識や指導経験を活かし、地域スポーツクラブの指導者や見守りスタッフとして現場を支えてもらえるよう調整しましたが、今年度は、具体的な取組までは至りませんでした。

○今後は、スポーツ推進委員が今まで以上に地域スポーツクラブ関係者との意見交換や情報提供、地域の連携に関与してもらえるよう調整していきます。

まちづくりと連携した取組

○学校部活動の枠を超え、地域の社会インフラや行政の他部局（健康・観光・都市計画等）と連携した『持続可能な地域社会の構築（ローカル・コミュニティの活性化）』を目指す」ということで整理すると、単なるスポーツ推進の枠にとどまらない、説得力のある「まちづくり連携」の取組として実施する必用がありますが、今年度は、具体的な取組（介護施設や病院、商業施設等への送迎への混乗や地方公共団体における送迎事業）はありませんでした。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

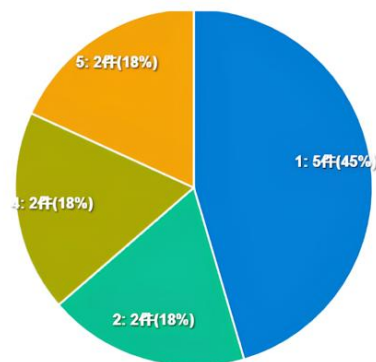
取組事項

- 既存スポーツ協会・スポーツ少年団・学校部活動・民間クラブとの役割整理
- 学校施設・公共施設の一体的活用(体育館、グラウンド等)

取組の成果

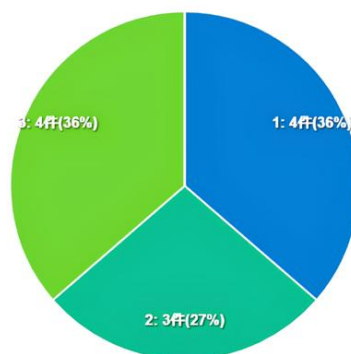
- 参加機会の拡大(新規参加者の増加)

地域スポーツクラブ実証事業にどれくらい参加していますか。



- 1. 毎回参加している (9割以上)
- 2. だいたい参加している (7~8割程度)
- 3. 半分くらい参加している (4~6割程度)
- 4. あまり参加していない (2~3割程度)
- 5. (ほとんど)参加していない (1割以下)

現在の活動回数は、どのように感じていますか。



- 1. 多いと思う
- 2. どちらかといえば多いと思う
- 3. ちょうど良いと感じる
- 4. どちらかといえば少ないと思う
- 5. 少ないと思う

出典：古河市地域スポーツクラブ実証事業 アンケート調査

今後の取組における課題

- 持続可能な運営体制の構築(指導者の安定確保、財源の多様化)
- 地域コミュニティの強化(世代間交流の促進、地域イベントとの連動、地域スポーツの一体感醸成)
- 行政負担の最適化(学校教員の負担軽減、事故・トラブル対応の一本化、役割分担の明確化)
- 安定的財源確保(コーディネーター人材の育成、広域移動に伴う交通手段の整備、地域間の温度差是正)

課題への対応方針

○課題への対応方針

これらの課題に対し、行政と地域、そして各団体をつなぐ特別職公務員であるスポーツ推進委員と連携し、課題解決のため指導・サポートしてもらいます。

○運動部活動の地域展開に向けた環境づくりを段階的に増やし、古河市の目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域展開する」ため、統括コーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を活用し、古河市の地域展開を順次すすめていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

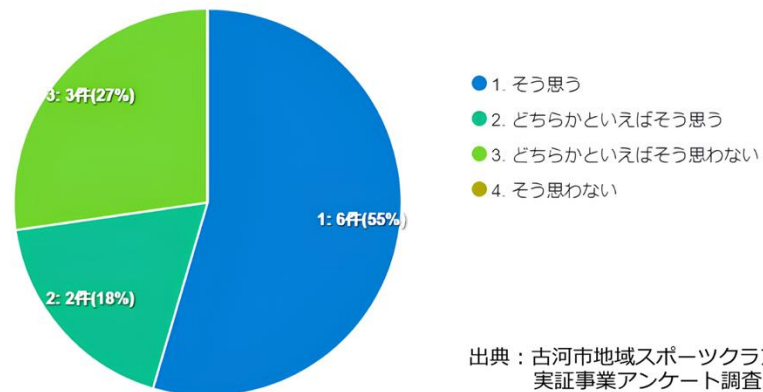
取組事項

- 実証事業に係る「アンケート調査」を実施し、ニーズの把握に努めた。
- ・アンケート実施期間(令和7年12月2日～令和7年12月31日まで)
- ・対象(生徒、保護者、教員、指導者)
- 活動実績(サッカー) 18回、延べ412名
- 活動実績(野球) 21回、延べ297名

取組の成果

- ・実証事業へ参加した生徒の満足度は73%であった。

地域スポーツクラブ実証事業(サッカー/野球)を、次年度(R8年度)も参加したいですか。



今後の取組における課題

- 指導者の確保・育成
- 運営体制の強化
- 財政基盤の確立
- 参加者の拡大
- 関係団体との連携強化
- 地域課題解決への役割拡大

課題への対応方針

- スポーツ推進委員、学校部活動指導員、スポーツ協会、スポーツ少年団の加盟団体と連携した指導者の発掘
- クラブマネージャーの配置による運営体制の整備
- スポーツ協会、スポーツ少年団、自治会、学校等との役割分担の明確化
- ICT活用による会員管理・情報共有の効率化
- 学校部活動の地域展開と連動した連携体制の構築
- スポーツ協会、スポーツ少年団、企業等との連携強化
- 定期的な情報共有会議の開催
- 子どもから高齢者まで参加できる多世代型プログラムの実施
- 継続的な財源確保
- 安全管理マニュアルの整備、指導者への安全研修の実施

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定や、公的資金のバランスについて検証を行った。

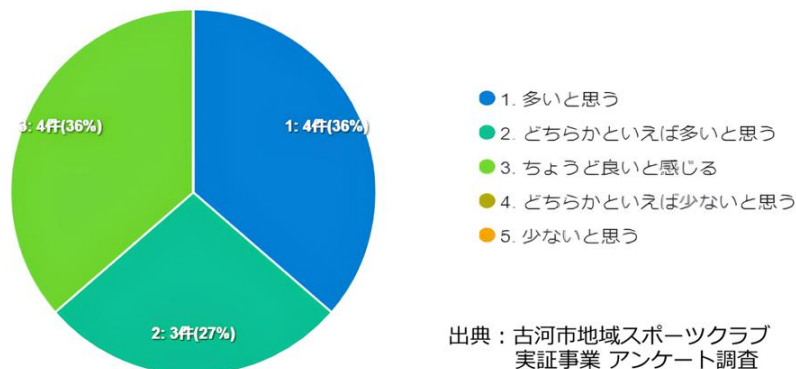
○活動実績(サッカー) 18回、延べ412名 ※参加費1回300円

○活動実績(野 球) 21回、延べ297名 ※参加費月2,000円

取組の成果

○保護者を対象に実施した受益者負担額に関するアンケート結果負担額が「適当である」と回答した保護者は86%であった。

地域スポーツクラブ実証事業の活動に支払う参加費は妥当だと感じていますか。



今後の取組における課題

- 支援制度の財源確保
- 公平性・対象範囲の整理
- 制度の周知手段
- クラブ運営への影響
- 経済的理由によるスポーツ機会格差の把握
- 継続的な制度評価

課題への対応方針

○取組の方向性としては、「受益者負担の適正化と、経済的理由によるスポーツ機会の格差解消」

○対応方針としては、「就学援助世帯等への月謝減免・バウチャー支給について行政部局と調整を進めるとともに、委員会主導の用具リユースシステムの構築や、施設利用料減免・ボランティア活用による運営コストの徹底的な抑制を図り、誰もが参加しやすい環境を整える。」

- 多様な財源確保による支援制度の安定
- 公正性を考慮した支援制度の整備
- 制度の周知と利用促進
- クラブ運営体制の強化
- スポーツ機会格差の把握と支援の充実
- 取り組みの検証と制度改善

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

○クラブ運営に必要な経費を踏まえ、参加費を基本としつつ、市の補助金や助成制度を組み合わせた料金体系を検討する。特に経済的負担が大きい家庭に対しては減免制度や補助金制度を活用できるよう、スポーツ参加の機会の確保とクラブの安定運営の両立を図る。

○参加費だけに依存しない運営体制を構築するため、企業等からの協賛も検討する。

○スポーツ推進委員、学校部活動指導員、スポーツ協会、スポーツ少年団の加盟団体と連携し、指導者やスタッフの確保を進める。また、地域のボランティア人材を活用することで、人件費の抑制と地域主体の運営体制の構築を図る。

○施設利用の調整や複数種目の合同運営、事務手続きのICT化などにより、運営コストの削減を図る。

○行政が一定の無支援を行いながらも、地域スポーツクラブが主体的に運営できる体制づくりを進める。将来的には、地域住民やスポーツ関係団体を中心とする持続可能なクラブ運営を目指す。

●収入

項目	費用	割合
公費	1,290,424	86%
参加費 (事務局運営費)	212,700	14%
合計	1,503,124	—

●支出

項目	費用	割合
地域クラブ活動費	1,290,424	86%
諸謝金 (指導者)	480,000	37%
旅費・交通費	33,302	—
消耗品費	560,672	—
雑役務費	106,450	—
保険料(生徒)	92,800	—
保険料(指導者)	17,200	—
事務局運営費	212,700	14%
一般管理費	212,700	—
合計	1,503,124	—

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

○運営主体の収支構造を3つに分けて検証を行った。

・「スポーツ活動費(保険料)」については、生徒の保護者等や指導者自らが負担するべきものとする。

・「スポーツ活動費(消耗品費)」、「事務局運営費」については、クラブが準備するもの、生徒へ直接的に支援している経費ではないので、国費や市の自主財源等を活用する。

・「スポーツ活動費(消耗品費、保険料除く)を受益者の対象に検証を行っていくこととする。

○受益者負担の設定額においては、実証事業では「1回参加すること」に負担する方法で検証した結果、「1回参加するごと」に負担を求めると参加率が低調なこともあって、受益者負担の額が非常に大きくなるとともに、収益の見込みがつかないことから、運営主体において持続可能な運営は困難になると思われる。

		決算額	割合	
スポーツ活動費	諸謝金	480,000	28%	⇒ ★受益者負担
	旅費・交通費	33,302	2%	⇒ ★受益者負担
	消耗品費	773,372	45%	⇒ 公費負担
	雑役務費	106,450	6%	⇒ ★受益者負担
スポーツ活動費(保険料)	保険料	110,000	7%	⇒ 自己負担
事務局運営費	一般管理費	212,700	12%	⇒ 公費負担
総 計		1,715,824	100%	

出典：古河市地域スポーツクラブ 収支内訳

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行った。

○合同部活動を実施している中学校を訪問し、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。

取組の成果

○合同部活動を実施している中学校を訪問し、理解を深めることで学校との繋がりを深めることができた。

※次年度以降の活動場所の理解を得ることができた。

○「サッカー」の活動場所については、全18回の活動(練習会)において公共施設(サッカー広場)を利用し、「野球」の活動場所については、全21回とも中学校グラウンドを100%利用して実施した。

今後の取組における課題

- 施設利用調整の複雑化
- 安全管理、責任区分の不明確さ
- 施設老朽化、維持管理コスト
- 指導者、管理人材の不足

課題への対応方針

- 利用ルールの明確化、標準化
 - ・「学校施設活用ガイドライン」の策定
 - ・利用優先順位の明確化
- 安全管理体制の強化
 - ・緊急時対応マニュアルの共有
 - ・貸出管理簿のデジタル化

用具使用・管理等における取組

- 使用区分の明確化
 - ・学校所有備品、地域スポーツクラブ所有備品
- 安全点検の実施
 - ・月1回の簡易点検、年1回の点検(ネット、ゴール、支柱等)

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組（次年度の実証事業）

取組事項

○古河市が設定した目標「令和9年度末までに休日に教職員が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する」を実行するため、次年度の実証事業について、中学校の校長会と調整(選定)を行った。

○中学校の校長会より決定された該当する中学校と運営主体を集め、事業への協力及び施設の利用等についての調整を行った。

取組の成果

○古河市が設定した目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域展開する」ため、令和8年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を活用し、古河市の地域移行を順次進めていくことになった。

今後の取組における課題

- 中学校部活動の一部を地域スポーツクラブへ段階的に展開
- 休日活動を地域指導者が担う体制構築
- 指導者の確保と育成
- 財政的負担

課題への対応方針

- 持続可能な運営
- 多世代・多分野の連携
- データに基づく評価
- 地域人材、競技団体との連携による人材確保
- 受益者負担と公的支援の適切な組み合わせ

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○古河市における地域スポーツクラブ活動の実証事業は、学校部活動の地域展開を見据え、地域における持続可能なスポーツ環境の整備を目的として実施した。

実証事業では、関係団体との連携を図りながら、指導体制の構築、活動場所の確保、参加者負担の在り方、運営体制の整備などについて検証を行った。

その結果、地域人材を活用した指導体制の構築や、学校施設の活用による活動環境の確保など、一定の成果が確認された。また、スポーツ推進委員や地域団体との連携により、地域全体で子どもたちのスポーツ活動を支える意識の醸成にもつながった。

一方で、指導者の安定的な確保、運営に係る財源の確保、参加費負担の在り方、用具管理や施設利用調整など、継続的な運営に向けた課題も明らかとなった。特に、持続可能な運営を実現するためには、行政だけでなく、地域団体、学校、スポーツ関係者が連携した運営体制の構築が重要である。

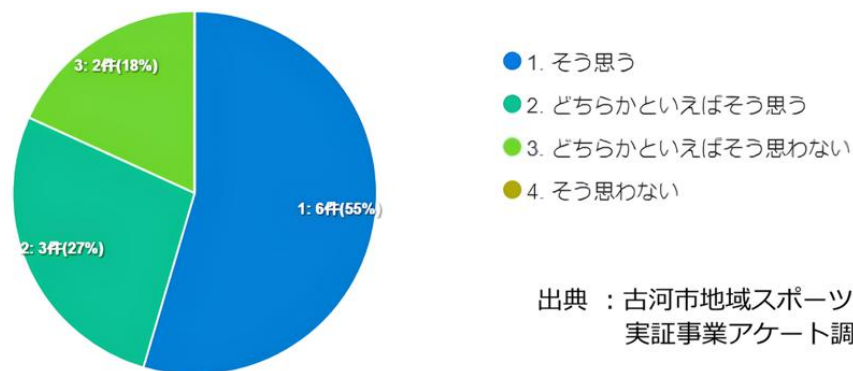
今後は、本実証事業で得られた成果と課題を踏まえ、地域スポーツクラブの運営体制の強化、指導者の確保・育成、財源確保の仕組みづくりを進めるとともに、誰もが継続してスポーツに親しむことができる地域スポーツ環境の充実を図っていく。

●成果の評価

○実証事業(サッカー、野球)を取り組み、生徒・保護者・教員・指導者からアンケートを行った結果、8割の生徒から自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲が増して満足度を図ることができた。

○古河市が目標年度として掲げている「令和9年度末までに休日部活動を地域移行する」ために取り組む課題等も見えてきたため、令和6年度に引き続き令和7年度も実証事業を実施することができたことは評価できる。

実証事業に参加して自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲が増しましたか。



●今後に向けて

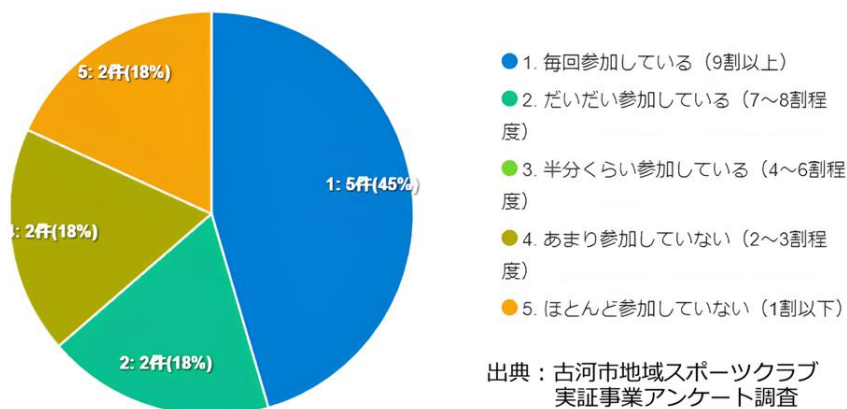
○運動部活動の地域展開に向けた環境づくりを段階的に増やし、市の目標年度(令和9年度末)までに「休日部活動を地域展開する」ため、次年度においてもコーディネーターの配置を含む運営団体、実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を活用し、古河市の地域展開を順次進めていく。

2.実証内容と成果②

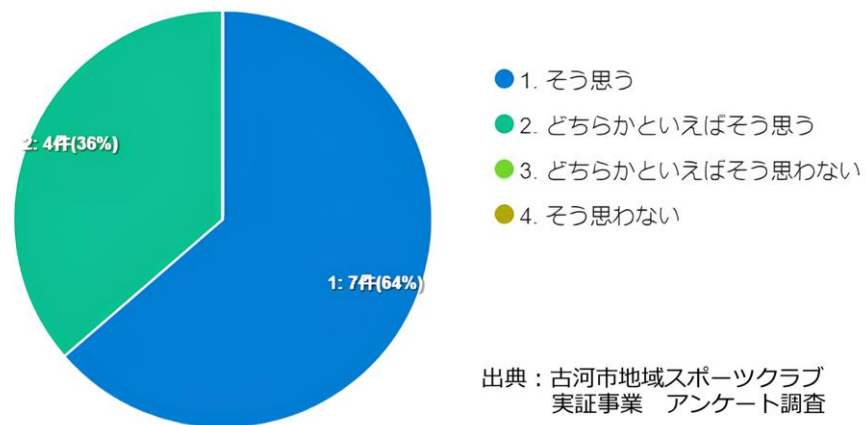
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果 (生徒)

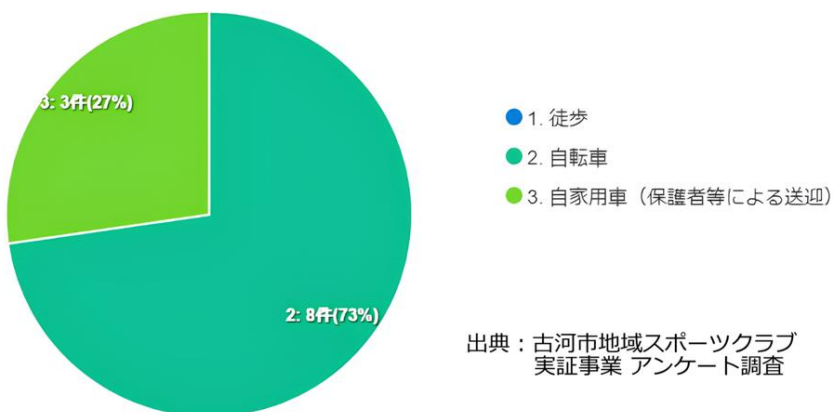
実証事業の活動にどれくらい参加していますか



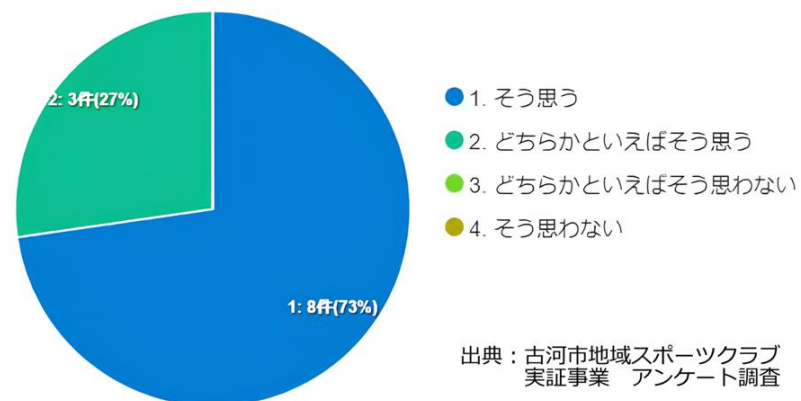
実証事業は指導が充実していますか



実証事業の活動場所までの移動手段は何ですか



実証事業は体力や技術の向上につながっていますか

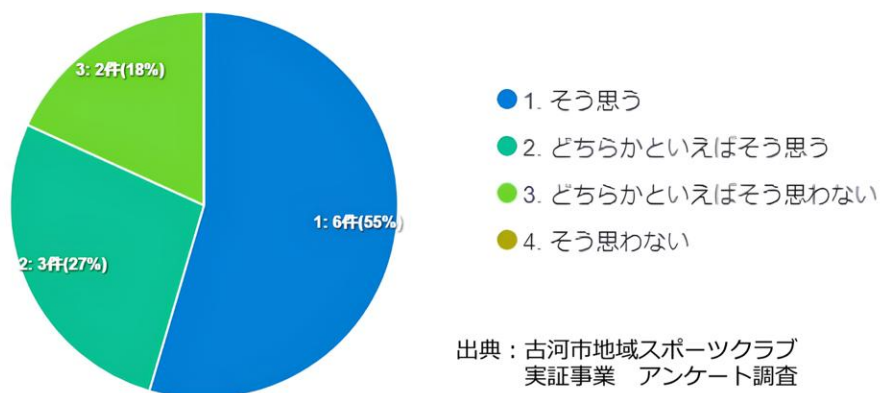


2.実証内容と成果②

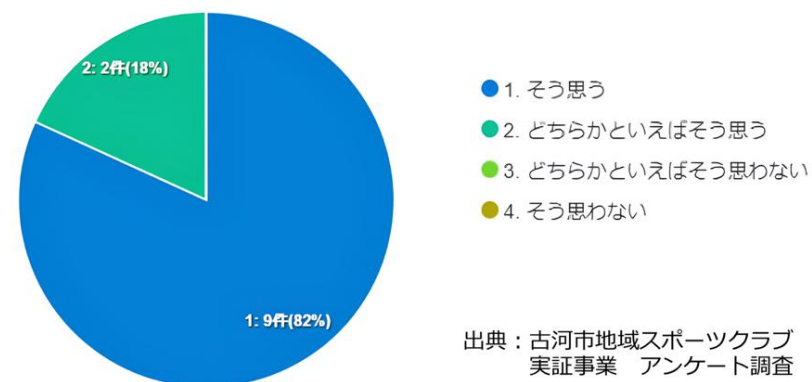
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果 (生徒)

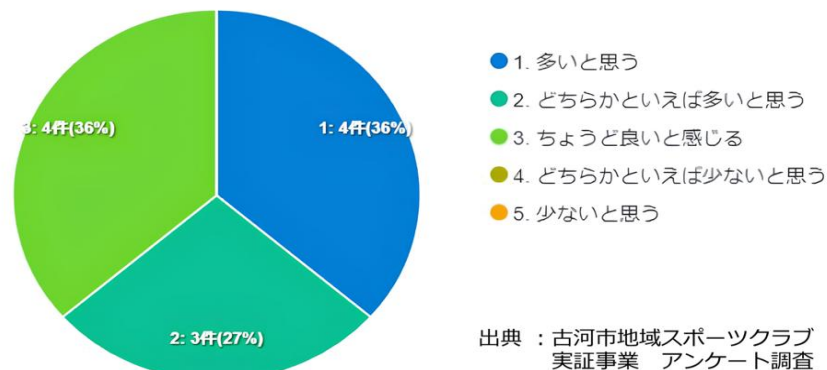
実証事業により、自分が取り組んでいる競技に対する興味や意欲は増しましたか



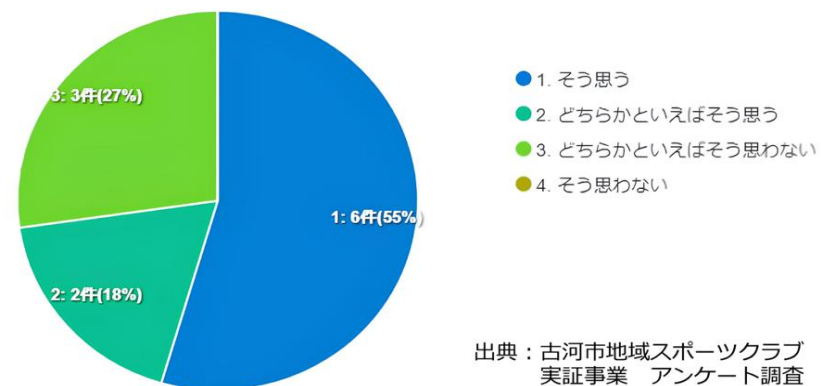
実証事業のスケジュール管理等としてしようしている「アプリ」の機能は使いやすいと思いますか



実証事業の活動回数はどのように感じていますか



実証事業の活動に次年度も参加したいですか

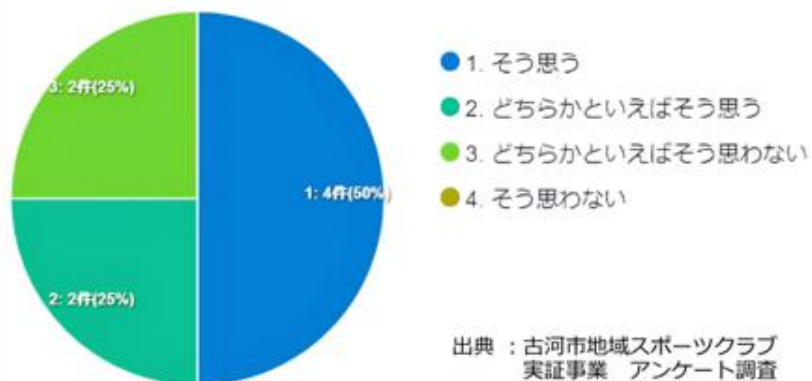


2.実証内容と成果②

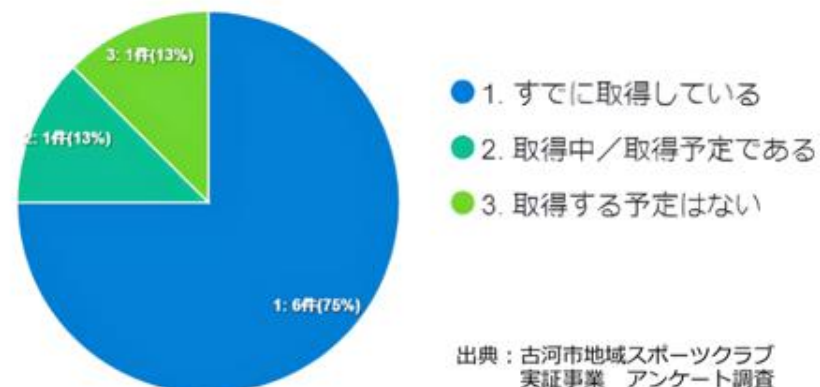
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果（指導者）

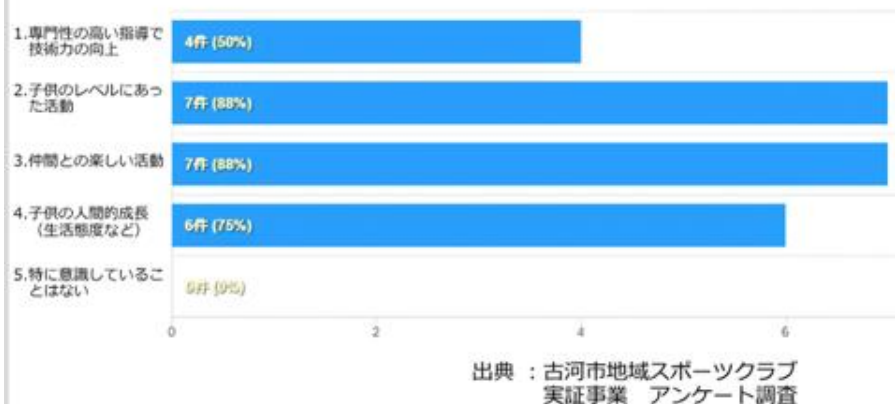
実証事業の指導者報酬(1h/1,600円)は妥当な金額だと思いますか



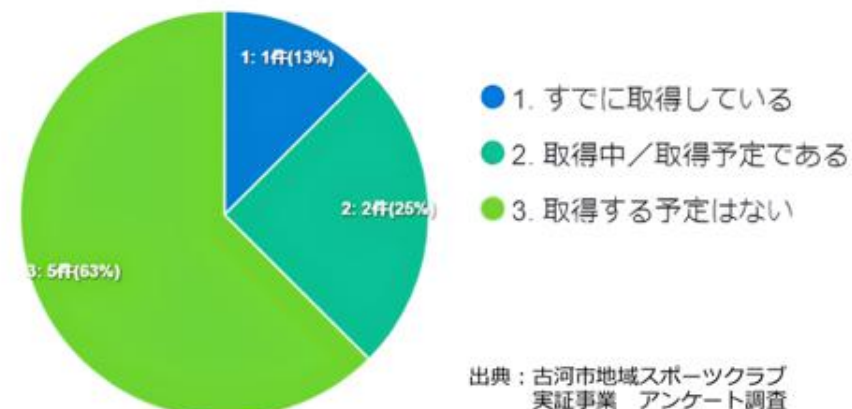
スポーツ指導に関わる資格を取得する予定はありますか



どのようなことを意識しながら指導にあたっていますか



審判資格を取得する予定はありますか

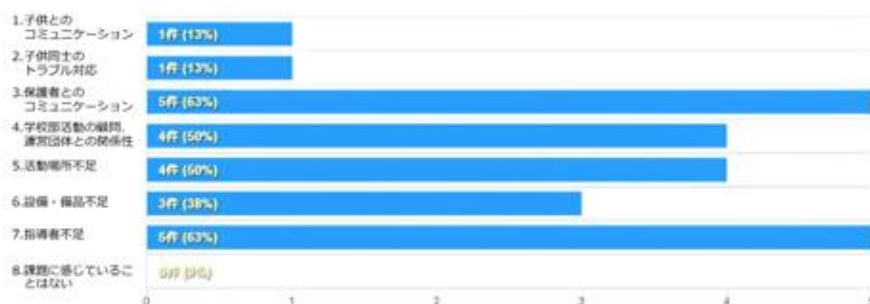


2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者/関係者の声

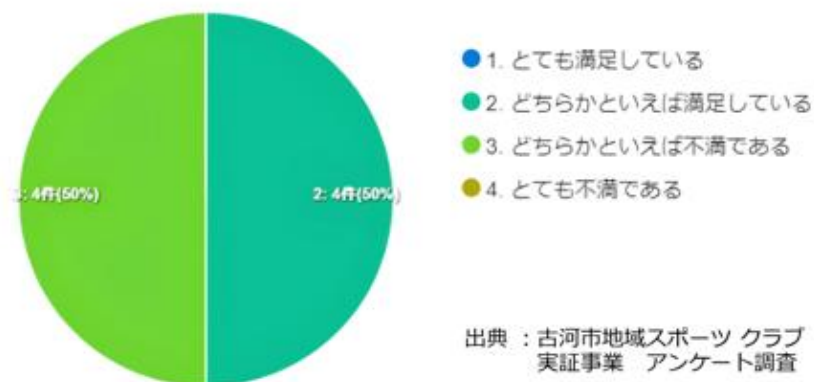
●アンケート結果（指導者）

課題に感じているものをすべて回答してください



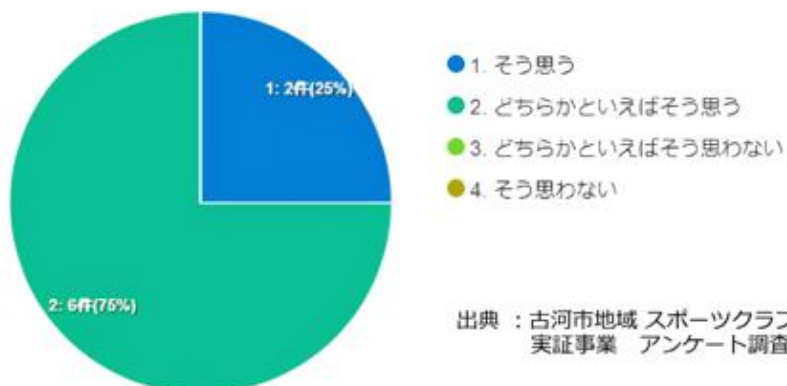
出典：古河市地域スポーツクラブ実証事業 アンケート調査

実証事業の活動に満足していますか



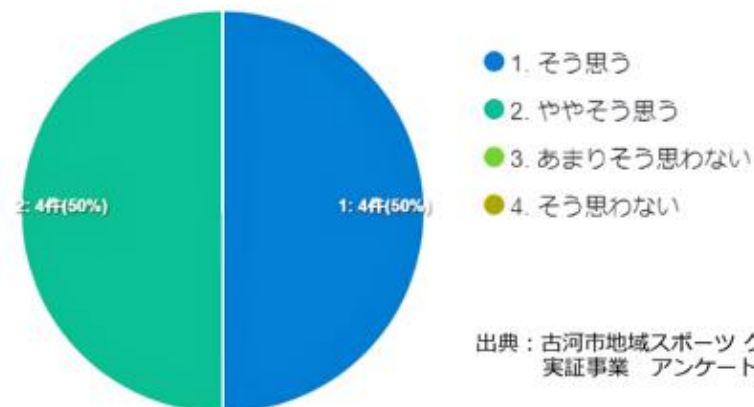
出典：古河市地域スポーツクラブ
実証事業 アンケート調査

実証事業のスケジュール管理等としてしようしている「アプリ」の機能は使いやすいと思いますか



出典：古河市地域スポーツクラブ
実証事業 アンケート調査

今後も継続して指導を行いたいですか



出典：古河市地域スポーツクラブ
実証事業 アンケート調査

アンケート結果・参加者/関係者の声

●参加者/関係者の声

参加者(生徒①)

- ・他の中学校にも拡大してほしい。

関係者(指導者①)

- ・正直な感想を述べさせていただくと、市が令和9年度末までにクラブ活動に移行するとありますが、移行までの期間でどのように進めていくかなどのプランニングが理解できておりません。保護者や部活の顧問の先生から移行期間の活動内容や今後の流れをよく質問されますが、答えられないのが現状です。(もちろん、わたくしが市の皆さまと連絡をとりあえば解決できる話だと思いますが。)
- ・先日、顧問の先生から相談を受けた際は、地域クラブの活動に生徒を連れて行くのであれば、自チーム(中学校の部活単位)で活動した方が公式戦とかのためになる。と言われました。また、地域クラブ活動を実施している意図がみえません。とご指摘がありました。そのこともあり、毎回20名弱しか生徒も集まりません。
- ・当活動を受け持った団体に説明することも必要ですが、保護者や部活の顧問の方への説明会等は必要ではと思います。直接皆さんに説明するのは、人数の関係上難しいと思いますが、資料等でも説明はできると思います。お忙しい中で大変恐縮ですが、ご検討いただけると幸いです。

関係者(指導者②)

- ・今後、地域移行を進めていくのであれば、指導者と活動場所の確保が最優先。現状、土日の活動はどうか確保することはできているが、今後、平日の活動をどうしていくのが課題だと考えます。また、クラブの運営に携わる人材の確保も併せて必要です。
- ・他の自治体で実施している教員が兼業届を出して、部活動に関わっていく事は今後の方向性として考えているのでしょうか。
- ・中体連の公式戦について、平日に組まれると指導者は参加できないので、土日開催がよい。

関係者(指導者③)

- ・現在の活動は、日曜日週一回3時間ですが、希望としては土曜日もできたらいいと思います。

関係者(指導者④)

- ・大会を平日に組まれるとサラリーマンをしている指導者は、休みが取りづらいにもかかわらず、資格を持った指導者が参加できなければチームとして棄権しなければならないような運営はいかがなものか。
- ・クラブチームに移行するのであれば練習時間等緩和するなど旧体制のルールを見直す必要があるのではないのでしょうか。

アンケート結果・参加者/関係者の声

●参加者/関係者の声

関係者(保護者①)

・自チームは、顧問の先生がサッカー経験者ではないので、サッカー経験者の方に指導して頂ける機会はとてもありがたいと思っています。先生の負担も減るかと思えます。が、地域移行の目的がよく分かりません。今年は古河市全ての中学校が地域移行の対象と聞いていますが、サッカー経験者の顧問の先生がいたり、人数の足りているチームは当然のごとく参加されていません。先生方の負担軽減とやりがい、難しい問題だと思います。子供たちも総体を最終目標として活動してると思うので、地域移行が進んで、週末に試合等組まないとチームとしての力はつかないと思いますし、地域移行をどのように進めて最終的にどのような形にしていくつもりなのかをもっと話し合うべきなのかなと思ひながら、息子の活動を支えています。

関係者(保護者②)

・違う学校の子供と関わりながら部活ができるのは良いと思うが、あまり他校の子供達と交流が持てていない感じがする。
・平日の練習も一緒にできると良いと思う。

関係者(保護者③)

・指導者の方、事務の方には、いつも大変お世話になっております。練習試合等も組んで頂き、少しずつチームがまとまって来たように感じております。今後どうぞよろしくお願いいたします。

関係者(保護者④)

・未経験者主体のチームなので、実際の練習だけでなく座学などでルールやパターン別の動きなどを講義してから練習するなど、初心者にも実になりやすい方法で教えてほしい。
・掛かる費用を明確にしてほしい。

関係者(保護者⑤)

・月3回程の地域クラブ活動なのですが、毎回学校の部活動の練習試合等と重なってしまい、なかなか参加出来ず、強制ではないとはいえ、お時間を割いて指導して下さっているコーチの方々に申し訳ない気持ちがあります。
・子どもにも専属のコーチのご指導の元、違った環境での練習にも参加させてあげたいので、可能であれば、クラブと学校との日時の擦り合わせ等していただけると幸いです。

関係者(保護者⑥)

・平日(部活動)と休日(クラブ)での指導者、メンバー構成が異なりなかなか一体感が出ない。
・ユニフォームが変わったためアンダーシャツ等の買い替えが負担に感じる。
・月謝の支払いが現金で面倒。
・タープやブルーシート等クラブ名義のものを用意するべき。
・平日各学校ごとの活動となると道具の管理等に費用が発生するので部費とクラブ費の両方が必要になってしまう。

2.実証内容と成果④

参考資料



▲体験会前の受付



▲体験会の道具(一部)



▲指導者の話を熱心に聞く参加者



▲参加者にインタビュー

2.実証内容と成果④

参考資料



▲ウォーミングアップ



▲投げ方の指導



▲用具倉庫



▲指導者の話を熱心に聞く参加者

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年

協議会の開催、
検討開始

学校現場との
調整

令和8年

運営団体(統
括組織)、実施
団体(受け皿)

クラブ認定基準、
指導者の選定、
拠点校の選定

令和9年

生徒、保護者へ
の説明

令和10年

地域クラブ活動
の開始

●課題共通

- ・部活動地域展開の必要性
- ・教員の働き方改革
- ・地域スポーツ環境の維持

●実証事業の実施

- ・モデル競技(サッカー、野球)
- ・指導者体制
- ・安全管理

- 活動中の事故やトラブルに対応するため、保険加入や緊急時対応マニュアルの整備、責任体制の明確化など、安全管理体制の構築が求められる。

●実施体制の検討

- ・運営主体
- ・指導者確保
- ・参加費設定
- ・学校施設利用

●運営体制の確立

- ・地域スポーツクラブの運営には、事務局機能や活動管理、会計管理などの体制整備が必要である。
- ・現在は行政や関係団体の支援に依存する部分が多く、継続的に運営できる体制の構築が課題となっている。

●関係団体との協議

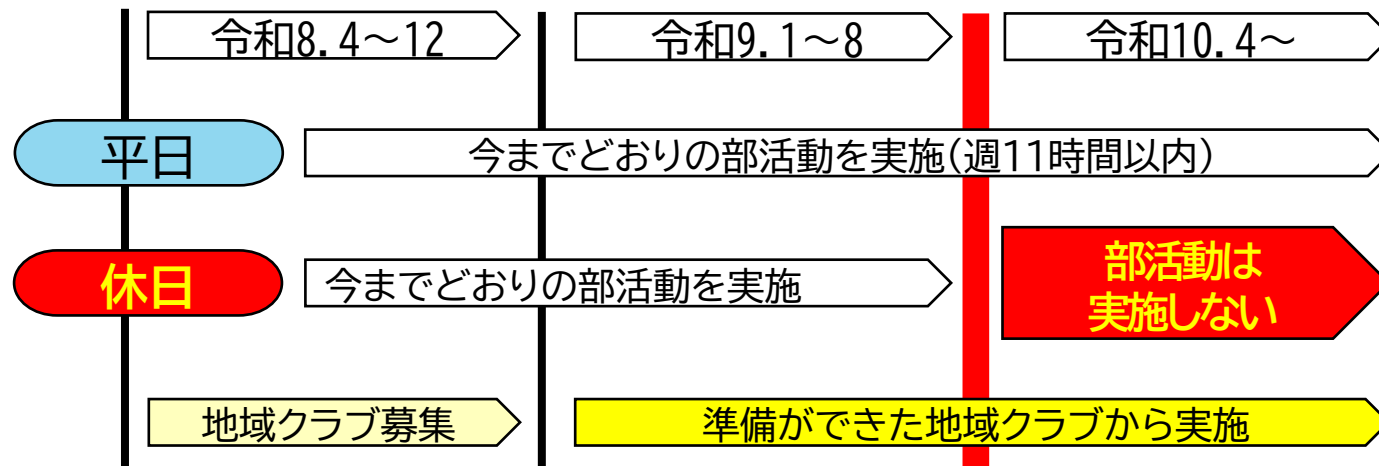
- ・スポーツ推進委員会
- ・スポーツ協会(競技団体)
- ・スポーツ少年団(競技団体)
- ・競技団体

●関係団体との連携

- ・地域スポーツクラブの活動には、学校、スポーツ協会、競技団体、スポーツ推進委員会など多くの関係者が関わるため、それぞれの役割を明確に市、情報共有や連携体制を強化していく必要がある。

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

部活動地域展開のロードマップ



上の図のように、令和10年度からの休日の学校部活動は実施しない。休日に実施してくれる地域クラブを募集し、準備ができた地域クラブから、順次実施する。平日の部活動については、当面今までどおり実施する。

大会の参加については、部活動は今まで通り、地域クラブは条件を満たしたクラブのみ参加することができる。

平日の部活動単位で、**休日の練習試合**を行う場合は、大会の1カ月前だけは、「学校部活動特例期間」として、教員もガイドラインの範囲内で携われる。それ以外の期間は、地域クラブか保護者の見守りで対応する。

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県石岡市

自治体名：茨城県石岡市

担当課名：教育委員会学校教育課

電話番号：0299-43-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	215.53 km ²
人口	69,051人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	1,539人
部活動数	54部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済（石岡市中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会）
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

これまで当市では、少子化に伴い、従来から野球部やサッカー部では、他の中学校と合同チームによる活動を行ってきた。

本市の昨今の出生者数を見ると、児童生徒数は年々減少傾向にある。10年後には生徒数が現在の約60%となることが推計され、団体スポーツの将来的な存続の難しさが予想される。

部活動の改革推進期間の4年目となり、持続可能性と多様性による生徒のための地域部活動を第一に進め、同時に教職員の働き方改革の推進を目標とし、地域移行を進めている。

また、長年にわたり、部活動は自分が選んだ種目を3年間継続するものという考え方が生徒、保護者、地域に根付いている。

今後、地域移行によって地域ぐるみで子供たちを心身ともに育成していくこと、子どもたちが自分で行いたい活動を自由に選べること、部活動が教育課程外のものであり教職員の働き方改革の点からもその本事業の効果が見込まれること等を、関係者や保護者に周知し、理解促進を図っていく。同時に地域移行の推進にあたって学校の教職員以外の地域内の指導者の発掘、確保を同時に進め、マルチスポーツの促進を図っていく。



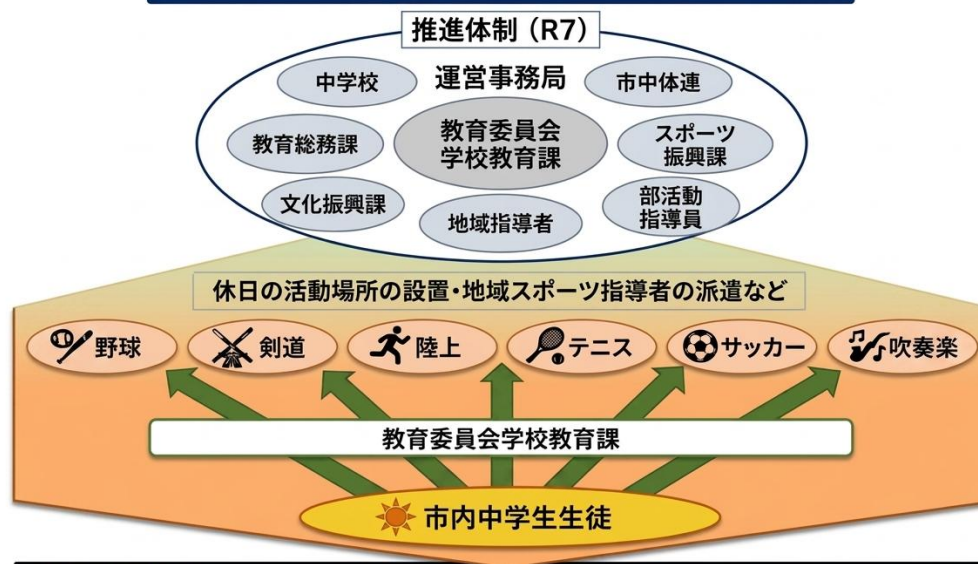
地域アプローチを活用した
石岡市の人口減少対策より

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図

令和7年度石岡市の部活動地域展開イメージ図



今後の方向性

- ①R7～R8前半：上記種目について、休日は月に1回の活動
(他種目は合同部活動による下地づくり)
- ②R8後半～R9前半：すべての種目について、休日は月に2回の活動
- ③R9後半～：すべての種目について、休日は毎週活動

●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- (学校教育課)：企画・調整・運営
- (教育総務課)：活動場所の提供・管理等
- (文化振興課)：指導者との連携
- (スポーツ振興課)：活動場の提供・管理等

年間の事業スケジュール

- | | |
|------------|---------------------------------------|
| 令和7年8月 | ・ 石岡市中中学生地域スポーツ・文化活動推進協議会 |
| 令和7年9～10月 | ・ 中学校部活動顧問との調整 |
| 令和7年11～12月 | ・ 市内全中学校職員への説明 |
| 令和7年12月 | ・ 指導者研修会 |
| 令和8年1月 | ・ 活動場所への楽器運搬
・ 中学校新入生説明会での市教委による説明 |
| 令和8年1～2月 | ・ 休日の地域部活動・吹奏楽練習 (全3回) |
| 令和8年2月 | ・ 指導者研修会 |
| 令和8年3月 | ・ 生徒・保護者アンケート実施 |

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5校	実施した地域クラブ総数	6クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		6クラブ（陸上競技、剣道、軟式野球、サッカー、男女テニス）
全体の指導者数	19人	全体の運営スタッフ数	7人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
陸上競技部	地域移行・団体等運営型	陸上競技部	0.25回/月 （年間3回）	9:00～12:00	2年8名 1年5名	令和8年1月～ 令和8年2月	石岡運動公園	4人	7人	年会費 800円（スポーツ保険等）	中体連 ：部活動
剣道部	地域移行・団体等運営型	剣道部	0.25回/月 （年間3回）	9:00～12:00	2年9名 1年15名	令和8年1月～ 令和8年2月	旧城南中	7人	7人	年会費 800円（スポーツ保険等）	中体連 ：部活動
軟式野球部	地域移行・団体等運営型	軟式野球部	0.25回/月 （年間3回）	9:00～12:00	2年17名 1年11名	令和8年1月～ 令和8年2月	八郷中	3人	7人	年会費 800円（スポーツ保険等）	中体連 ：部活動

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に (新)を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ 数 (他クラブと 兼務)	会費	大会参加 方法
サッカー部	地域移行・団体 等運営型	サッカー部	0.25回/月 (年間3回)	9:00~12:00	2年16名 1年17名	令和8年1月~ 令和8年2月	柏原サッカ-場	3人	7人	年会費 800円 (スポーツ 保険等)	中体連 :部活動
男子テニス部	地域移行・団体 等運営型	男子テニス部	0.25回/月 (年間3回)	9:00~12:00	2年8名 1年15名	令和8年1月~ 令和8年2月	柏原テニス 場	1人	7人	年会費 800円 (スポーツ 保険等)	中体連 :部活動
女子テニス部	地域移行・団体 等運営型	女子テニス部	0.25回/月 (年間3回)	9:00~12:00	2年20名 1年18名	令和8年1月~ 令和8年2月	八郷運動 公園	1人	7人	年会費 800円 (スポーツ 保険等)	中体連 :部活動

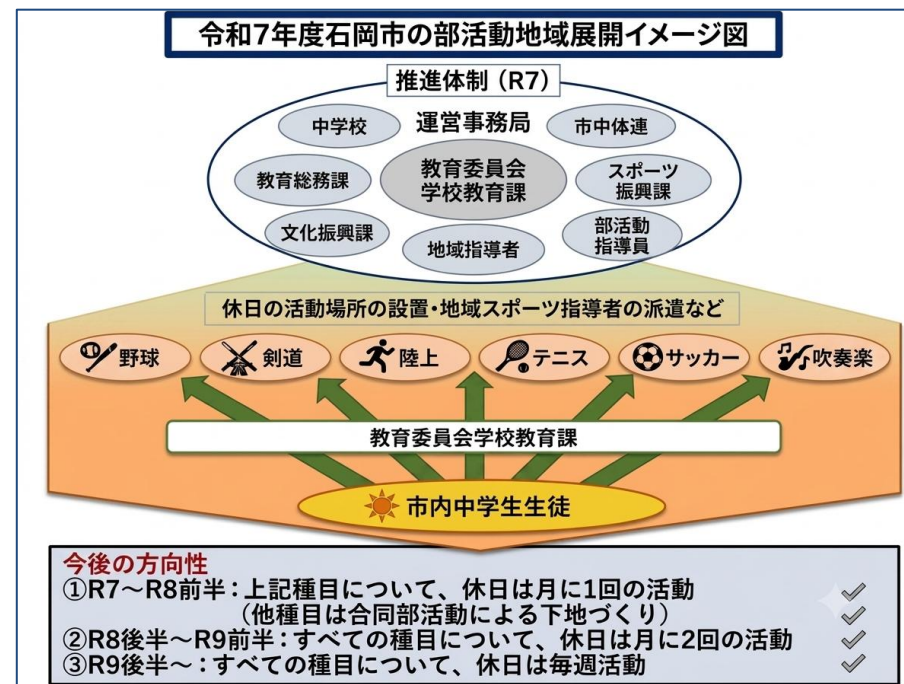
2.実証内容と成果

主な取組例

●石岡市地域スポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技、剣道、軟式野球、サッカー、男女テニス
運営団体名	石岡市教育委員会
期間と日数	1月17日～2月22日 月1～2回程度
指導者の主な属性	市陸上競技連盟、市剣道連盟、少年野球指導員、少年サッカー指導員、テニス指導員
活動場所	石岡運動公園、八郷運動公園、柏原サッカー公園、柏原テニスコート、八郷中学校
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり： ：1,850円/年（64歳以下） ：1,200円/年（65歳以上）

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●運営事務局（教育委員会学校教育課）

企画・学校や指導者・施設との連絡調整・全体運営・活動当日の指導者へのサポート
指導者研修の実施

●各種目の指導者

活動内容の打ち合わせ、生徒全体・生徒個々への助言指導、技術指導

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

市スポーツ協会や学校関係者からの情報収集により、適切に指導ができる人材を発掘する。

中学校との連携を強化し、生徒の主体的な参加を促す体制を整える。

今年度、地域クラブ活動を実施しない種目については、合同練習会を実施し、今後の地域展開への下地づくりを行う。

取組の成果

スポーツ少年団での指導経験や学校部活動での指導経験のある方々、また、兼職兼業により指導を希望する教員に、指導者として登録していただき、質の高い活動が展開され、部員の技術力向上やモチベーションの維持向上が図られた。

中学校顧問との連絡調整を強化し、今年度は、スポーツ活動において158名の参加者があった。各種目、各回とも多数の参加者があったため、相互にコミュニケーションをとりながら、バリエーションの高いメニューの中、充実した活動が展開された。

今後の取組における課題

- ・ テニス種目は、男女ともに多くの生徒参加者があった中、指導者数が不足しており、一人ひとりの生徒に対する細やかな指導が困難な状況があった。
- ・ 平日の部活動と休日の地域クラブ活動における指導内容や方針に一貫性を持たせるための検討が必要。
- ・ 遠方会場への保護者による送迎負担が大きく、活動への参加を躊躇する要因となっているため、今後の参加者増を図る上で、送迎方法の多様化や会場設定の見直しなど、具体的な負担軽減策の検討が必要。

課題への対応方針

- ・ 参加希望者数を定期的に把握し、クラブごとの適正規模と指導者配置の状況を踏まえ、学校や地域人材への積極的な声掛け等による指導者候補の発掘、既存指導者への負担軽減策の検討を行い、生徒数に見合った指導体制の段階的な強化を目指す。
- ・ 活動の質と一貫性確保のため、地域指導者と学校の部活動顧問による指導内容の共通理解を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

市教育委員会がコーディネーターとなり、部活動地域移行に向けての各中学校全職員の声を丁寧に聞いた。また、各種目専門委員長とも密に連携し、各種目の活動日時や会場等の調整を行うことができた。

指導者には、研修の機会を設け、市の運営の方針や指導における留意点等を共有することができた。事後にも指導者の研修を実施し、次年度に向けての課題等を整理した。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・ QRコードからの参加申込・保険料支払い、Googleスプレッドシートを活用した欠席報告等、事務局による電子一括管理を実施した。
- ・ 活動実施日の保護者等への連絡体制については、3回の活動中、初回は事務局が、2回目は事務局と指導者共同で、3回目は指導者が行い、指導者による活動運営に移行するようにした。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・ 持続可能な指導者確保のため、指導者の指導方針や生徒への思いを丁寧に聞き取るようにした。これにより指導者の意欲を維持し、同時に生徒の主体性尊重、安全管理、ハラスメント防止等の観点で、安全・安心な活動環境の整備に繋げるようにした。
- ・ 事務局（学校教育課）と各中学校教職員や部活動顧問との情報交換等を継続し、部活動所属生徒の多数参加を図った。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・ 指導者には、茨城県の地域クラブ活動指導者向けオンデマンド研修システムを活用した事前研修を行い、コンプライアンスの徹底や、ハラスメント防止、また、緊急時の対応等について共有した。
- ・ 活動実施日には、事務局（学校教育課）職員が市内実施会場を全体的に巡回し、指導者からの問い合わせを常時受けられる体制を取った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・ 野球は、野球グラウンド環境として市内随一クラスの八郷中野球グラウンドを活用する。
- ・ サッカー、テニス、陸上は、市内公共の専用スポーツ施設を活用する。
- ・ 剣道は、旧城南中学校を利活用した公共運動施設の武道場を活用する。

取組の成果

- ・ 八郷中学校野球グラウンドについては、部員の日常的な丁寧な整備もあり、参加者も常に場を清める意識で活動に取り組んだ。良好なグラウンド状態が常に保たれ、かつ、指導者による丁寧な指導のおかげで、参加者は野球の楽しさを十分に味わいながら活動した。
- ・ サッカー、テニス、陸上については、多数の参加者に対応できる十分なスペースと快適さをもつ施設を使用したため、気持ちよくスポーツを楽しむことができた。
- ・ 剣道については、元中学校のトイレやストーブがある環境の中、快適に活動を楽しむことができた。

今後の取組における課題

- ・ 野球・剣道ともに、石岡地区及び八郷地区の学校の生徒を1か所の会場に集めて活動したが、会場が市内中央部ではなく、どちらか一方に寄った立地であるため、遠方から参加する生徒の送迎に伴う保護者の負担に課題がある。
- ・ 八郷中学校の学校施設は、施錠・解錠管理について、前日に鍵を借りる等の負担がかかった。

課題への対応方針

- ・ 野球、剣道については、石岡地区及び八郷地区それぞれの送迎距離等を考慮し、関係部署と調整のうえ、学校施設以外の選択肢も含めたより適切な会場での実施を検討する必要がある。
- ・ 運営事務局（教育委員会学校教育課）の職員が不在でも、指導員のみで施錠等の管理ができるような方法を検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

少子化等の現代的な課題により、部活動においてチームを結成し集団で練習に取り組む機会が少なくなりつつある中、学校の枠を超え、同じ種目で技能の向上を目指し、チームワークを構築して協働するような体験は、引き続き重要であると考えます。

そこに、各種目の専門性の高い指導者を迎え、高度な指導を生徒に提供できたことは、生徒の活動への満足感、技能面の向上、他者との協働的な学びの面等で大変効果的であった。

また、本活動に対する保護者の感想には、目標に向かって頑張る生徒への励ましの言葉や頑張る姿を賞賛する声を聞くことができた。

生徒を心身ともに育成しようという地域ぐるみの取組として、本事業の部活動は生徒、保護者、指導者を機能的に繋ぎ、運営ができた。

●成果の評価

- ・ 各中学校教職員の協力により、野球28名、サッカー33名、陸上13名、剣道24名、男子テニス23名、女子テニス38名と、昨年度までを大きく上回る多くの生徒が参加できた。
- ・ 他校の生徒や異年齢の集団とともに、協働する楽しさや喜びを、生徒自身が感じることもできた。
- ・ それぞれの種目の専門性の高い複数の指導者から質の高い指導を受けることができ、参加した生徒の種目への興味関心・技術の向上を図ることができた。
- ・ 学校施設、廃校を活用した運動施設、市公共運動施設を有効活用し、定期的な活動が可能となった。

●今後に向けて

今後は、実施の種目や回数を増やす等、生徒の豊かな体験の場を確保していきたい。その上で、マルチスポーツの考え方を生徒、保護者、指導者、学校、地域等生徒に関わる全ての人に伝え、理解を促していく。

さらに、保護者の負担を軽減するという点からも、会場までの移動手段を保護者送迎限定とせず、市の他部局と連絡調整してオンデマンドタクシーや市バスの活用を検討する等、部活動地域展開を市を挙げて推進していく必要があると考える。

2.実証内容と成果②

参考資料



【野球】



【剣道】



【陸上】



【サッカー】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、市のスポーツ連盟、各競技団体

市長部局、市教委（総括コーディネーター）、各種目担当責任者

経過

令和5年度から、市教育委員会が運営団体の中心となり、検討委員会を設置した。令和6年度は、運営団体と指導者、行政等で組織する連絡協議会を設置し、各種目の活動にあたっての運営マニュアルや指導の方針を検討した。今年度は、「令和9年から休日については全種目完全実施」の目標を提示した。

実施内容

令和5年度より種目数を少しずつ増やして活動を実施し、令和7年度には、野球・サッカー・陸上・剣道・テニス・吹奏楽において地域クラブ活動を実施した。昨年度までは、参加者数が少なかったが、今年度は、各中学校に出向き生徒の参加協力を促し、222名が参加した。また、他種目については今後の地域クラブ活動実施の下地づくりとして、合同部活動を実施した。

実施にあたって生じた課題

運営面では、種目によっては指導者不足が課題であり、持続可能で多様性のある地域部活動実現のためには改善が必要であると捉えている。スポーツ少年団や地域の企業等へ指導者募集の案内を出す等、関係者への積極的な働きかけを検討している。

今後の展開

令和9年度秋から、市内すべての中学校において、休日の地域部活動を毎週実施できるよう拡大していく。また、持続可能な運営のため、受益者負担の点からも、適切な会費負担を検討していく。

昨年度から、新1年生とその保護者の理解を得るため、中学校の新入生説明会の際には、市教育委員会担当者が地域部活動の説明を行った。さらに、今年度は全中学校に出向き、全職員に今後の方向性等の説明と生徒への参加協力依頼を呼びかけた。

持続可能な、運営体制づくりが今後の大きな課題と捉えている。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

石岡市中学生の休日スポーツ・文化活動予定（R7～R9）案

移行期Ⅰ R8.1～R8.2、R8.5～R8.7 毎月1回の実施

移行期Ⅱ R8.9～R9.2、R9.5～R9.7 各月2回の実施

教育委員会主導の
石岡市地域クラブ



部活動部員で合同練習
(指導者は、地域指導者・兼職兼業教職員)

部活動合同練習会
(学校部活動)



部活動部員で合同練習
(指導者は、地域指導者・教職員)

石岡市地域クラブ活動
(教育委員会主導の石岡市地域クラブ)



部活動部員で合同練習
(指導者は、地域指導者・兼職兼業教職員)

移行期Ⅲ R9.9～ 各月4回の実施【休日 完全地域展開】

石岡市地域クラブ活動
(教育委員会主導の石岡市地域クラブ)



部活動部員で合同練習
(指導者は、地域指導者・兼職兼業教職員)

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県龍ヶ崎市

自治体名： 茨城県龍ヶ崎市

担当課名： 教育委員会文化・生涯学習課

電話番号： 0297-64-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	78.59km ²
人口	74,589人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	1,779人
部活動数 (運動部活動のみ)	49部活
地域クラブ活動数	14クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

スポーツ・文化芸術等の部活動を学校から地域クラブ活動へと移行することを目指し、令和7年12月には、「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」も新たに策定され、将来にわたる生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会の確保・充実等を図ることが求められている。

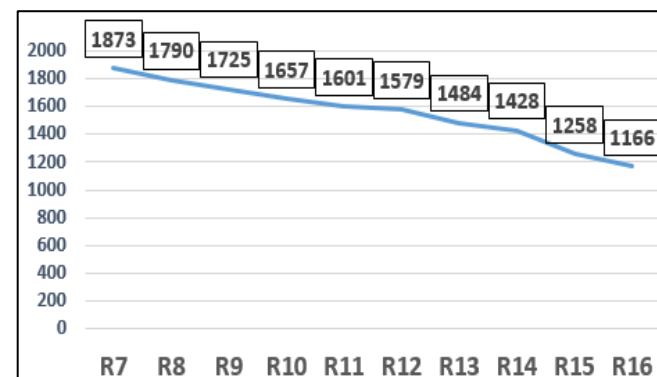
これらを受け、龍ヶ崎市でも令和6年5月に「龍ヶ崎市地域クラブ活動ガイドライン」を策定し、令和6年7月には「龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会」を設置し、年3回協議会を開催してきた。庁内でも、検討会を年数回開催し、部活動地域展開に向けて計画を進めてきた。

現在、龍ヶ崎市の運動部活動は、軟式野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、バレーボール部（男女）、ソフトテニス部（男女）、卓球部（男女）、柔道部、剣道部、弓道部、陸上部があり、全部で49運動部活動がある。生徒数も年々減っており、特に団体スポーツの将来的な継続は難しく、昨年度に比べて3つの運動部が削減となっている。

令和6年度は、実証事業として、野球部とサッカー部の休日練習を地域移行した。顧問と地域指導者で連携を図りながら、令和6年8月より地域クラブ活動を開始した。令和7年度は、野球部とサッカー部については平日まで移行し、サッカー地域クラブは中体連登録をして総体や新人戦に参加することができている。他の運動部については、令和7年10月から全ての種目において休日の地域展開を開始することができた。

課題としては、練習会場までの移動や種目によっては参加生徒が少ない等挙げられるが、その都度関係者間で連携を図りながら改善し、改革を進めている。

運動部活動種目数	10種目（男女別も1種目）
部活動数	49部活
部員数（1・2年）	686人
地域クラブ会員数	394人
地域クラブ参加率	57%



龍ヶ崎市立学校の部活動
地域クラブ活動の状況
(令和7年12月)

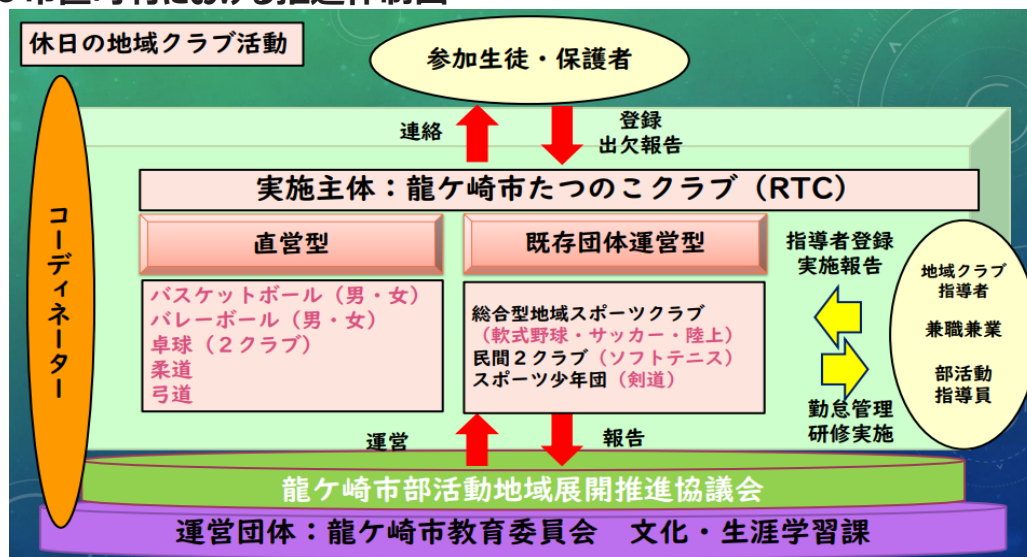
龍ヶ崎市の中学校生徒数の推移
(令和7年12月)

【部活動地域展開検討会資料】

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



【令和7年度龍ヶ崎市部活動地域展開推進計画】

●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・ 文化・生涯学習課・・・部活動改革の主管、学校との連絡・調整
保護者対応、アプリの管理
- ・ 教育総務課・・・学校施設管理・学校施設利用時の制度整備
- ・ 指導課・・・部活動指導員の配置、顧問の勤務時間管理
- ・ 部活動コーディネーター・・・地域クラブとの連絡・調整、事務局運営

◎首長部局

- ・ スポーツ推進課・・・地域スポーツの環境整備、施設の管理
スポーツ指導者の配置

年間の事業スケジュール

令和7年4月	部活動地域展開検討会① 市内中学校新入生へ地域展開説明 市中体連理事会・総会
令和7年5月	部活動視察・顧問ヒアリング 校長会にて部活動地域展開説明
令和7年6月	部活動地域展開検討会② 市中体連専門委員会 市総合体育大会視察
令和7年7月	第1回龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会 各中学校にて休日地域展開について説明 市教育研究会にて全教職員へ説明
令和7年8月	市中体連専門委員会 地域クラブ参加意向調査実施 地域クラブ指導者講習会
令和7年9月	市新人体育大会視察 地域クラブ指導者・団体と連絡・調整
令和7年10月	部活動地域展開検討会③ スポレクにて部活動地域展開説明ブース設置 全ての運動部活動の休日地域展開開始
令和7年11月	第2回龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会
令和7年11月	県立竜ヶ崎第一高等学校附属中への説明会
令和7年12月	各中学校にて小学6年生への地域クラブ説明
令和8年1月	部活動地域展開検討会④
令和8年2月	第3回龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		14クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	14クラブ（49部活動）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	61人	全体の運営スタッフ数	3人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
FC RYUGASAKI	総合型地域スポーツクラブ クラブ・ドラゴンズ	サッカー	・ 平日1回 ・ 休日1回	平日 17:30～19:30 休日 9:00～11:00	中1：10人 中2：20人	令和7年 4月～	4人	4人 (内、兼務1人)	5,650円/月額	中体連対応
龍tennis	民間クラブ	ソフトテニス	・ 平日1回 ・ 休日1回	平日 17:30～19:30 休日 8:00～10:00	中1：30人 中2：6人	令和7年 10月～	6人	6人 (内、兼務1人)	2,000円/月額	部活動で参加
RTC女子 バスケットボール クラブ	教育委員会	バスケットボール	・ 休日1回	休日 10:00～12:00	中1：14人 中2：2人 中3：4人	令和7年 10月～	5人	5人 (内、兼務1人)	1,000円/月額	部活動で参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

【小学生体験会：野球・サッカー・陸上】

- ・ 小学6年生を対象として、地域クラブについて理解を深めてもらうため、体験会を実施した。

【大学と合同練習会】

- ・ 市内にある流通経済大学にて、多世代との交流機会を創出することを目的にして合同練習会（陸上・バスケ）を実施した。

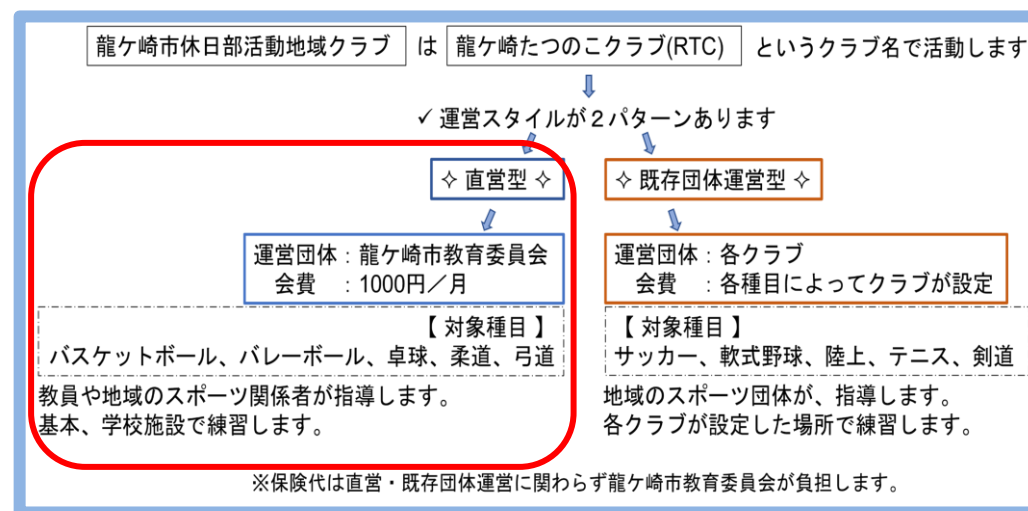
2.実証内容と成果

主な取組例

●RTC（龍ヶ崎たつのこクラブ） 直営型活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール・バレーボール・卓球 柔道・弓道
運営団体名	龍ヶ崎市教育委員会
期間と日数	月2～3回（半年で15回程度）
指導者の主な属性	兼職兼業の教職員・部活動指導員 地域指導者・市スポーツ指導者
活動場所	市内中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、家族送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	月1,000円（年額12,000円）
1人あたりの保険料	龍ヶ崎たつのこクラブ保険 生徒・指導者1人あたり：700円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



【保護者説明会資料】

●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 事務局
役割：活動日程調整・連絡、消耗品管理
- 部活動コーディネーター
役割：会員の出欠・指導者の勤怠管理、指導者の謝金支払い
- 地域クラブ指導者 31名（内兼職兼業：13名）
役割：生徒への技術指導、事務局への報告



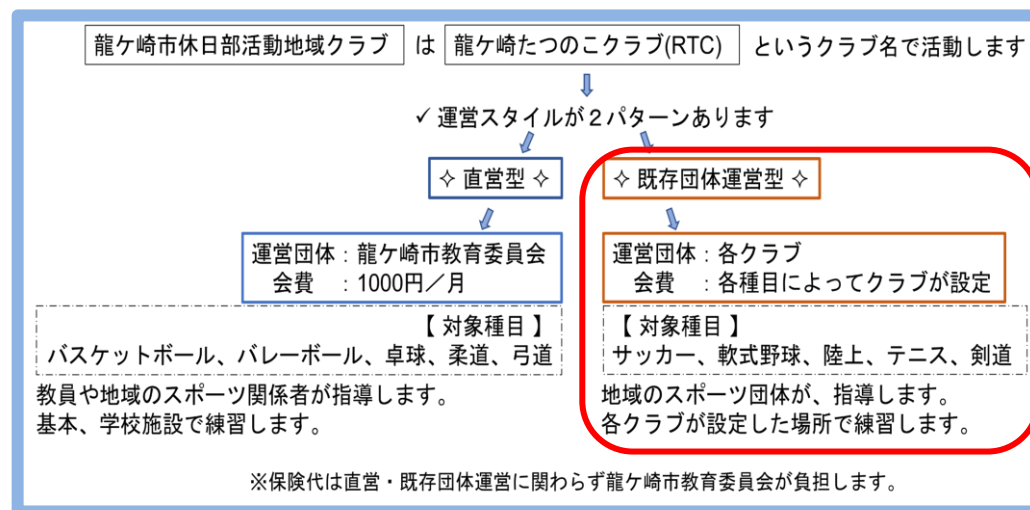
2.実証内容と成果

主な取組例

●RTC（龍ヶ崎たつのこクラブ）既存団体運営型活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	① 軟式野球・サッカー・陸上 ② ソフトテニス ③ 剣道
運営団体名	① 総合型地域スポーツクラブ ② 民間2クラブ ③ スポーツ少年団
期間と日数	① 月16回程度 ② 月4～8回程度 ③ 月16回程度
指導者の主な属性	地域指導者・兼職兼業の教職員・大学生
活動場所	AIメカテックフィールド・TOKIWAスタジアム 龍ヶ岡テニスコート・龍tennisの村、中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、家族送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー・野球：月5,650円 陸上：月9,940円 ソフトテニス：月2,000円 剣道：年4,000円
1人あたりの保険料	龍ヶ崎たつのこクラブ保険 生徒・指導者1人あたり：700円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



【保護者説明会資料】

●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 事務局
役割：消耗品管理、活動内容の把握、学校との連絡・調整
- 部活動コーディネーター
役割：会員の出欠、地域指導者との連絡・調整
- 地域クラブ指導者 30名
役割：生徒への技術指導、事務局への報告



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【部活動の地域展開検討会議】

第1回4月14日開催

第2回6月13日開催

第3回10月2日開催

第4回1月29日開催

（メンバー：教育委員会各課長、スポーツ推進課の代表者等）

【龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会】

第1回7月4日開催

第2回11月14日開催

第3回2月12日開催

（メンバー：スポーツ協会・スポーツ少年団・大学教授・中体連代表者等）

取組の成果

市としての方向性を決定する場として検討会議（年4回実施）があり、そこで決定したことの情報共有の場として協議会（年3回実施）を位置付け、様々なステークホルダーと議論をしながら、休日の地域展開について改革を進めた。

検討会議にて決定した事項については、事務局が中心となり、運営団体や実施主体、学校と個別に連絡・調整を行い、適宜指導や助言を繰り返した。

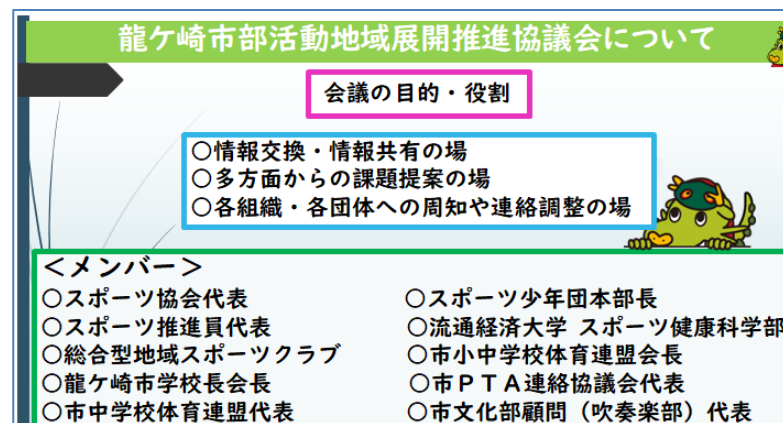
定期的に校長会、教頭会、教務主任会、中体連理事会、各種目専門委員会等に参加し、市としての方向性を説明しながら関係者間で合意形成を図った。

今後の取組における課題

協議会委員10名（スポーツ協会代表・スポーツ少年団代表・スポーツ推進員代表・総合型スポーツクラブ代表・大学教授・中体連代表・校長会代表・市P連代表・中体連理事代表・文化部代表）と情報共有を図ってきた。委員の中には、地域クラブ指導者として関わっている方もおり、生徒の実態について詳しく共有することができた。委員以外の団体関係者や顧問・保護者に情報を伝えることが課題である。

課題への対応方針

顧問・保護者や生徒には、情報発信ツールとして、既に学校へ導入しているスクリーンを使って定期的に情報を配信したり、市のホームページを更新したりと周知に努めたが、まだまだ課題である。今後も情報発信の頻度を増やしたり、保護者や生徒が集まる場所で継続して説明していく必要があると考える。



【協議会資料】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・ 地域クラブ会員の入会・退会の処理。
- ・ 地域クラブ指導者の勤怠管理。
- ・ 諸謝金の支払い事務。
- ・ 運営団体・実施主体との連絡・調整。
- ・ 行政、学校、関係団体等との情報共有。
- ・ 検討会、協議会の開催文書・会議資料・顛末書作成。
- ・ 消耗品・備品の発注、管理。
- ・ 庁内関係各課との日程調整。
- ・ 成果報告書、補助金申請書類の作成。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・ 地域クラブ指導者と顧問、事務局間でスプレッドシートを共有し、部活動の日程や地域クラブの活動内容、生徒の出欠状況等関係者間で情報共有して連携を図った。
- ・ 参加者の連絡ツールとして、電話・メールの他に学校に導入されているスクリーンアプリを活用して、メッセージの送信や出欠の管理を行った。
- ・ 指導者間でメールで連絡を取り合う場合、事務局のアドレスをBCCとして追加してもらい、情報共有を図った。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・ 「龍ヶ崎市立中学校部活動地域移行事業実施要綱」を各団体に配付し、必要な事項を説明した。
- ・ 「龍ヶ崎市地域クラブガイドライン」に準拠した活動になるよう、実施主体となる団体からは会則、規則、その他団体の概要が分かる書類を事前に提出してもらい、事務局で確認した。
- ・ 実施主体となる指導者や団体の代表者の中から「龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会委員」として委嘱し、会議の際に情報共有を行った。

【地域クラブ活動ガイドライン】

龍ヶ崎市
地域クラブ活動ガイドライン

令和6年5月
龍ヶ崎市教育委員会

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・ 「緊急対応マニュアル」を作成し、地域クラブ指導者へ貸与した救急バッグに保管し、活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め、管理責任の主体について確認をした。
- ・ 事故等が発生した場合、保護者や関係機関等との適切な連絡がとれるよう、電子申請ができるURLをマニュアル裏面に記載し、事務局が早期対応できるよう工夫した。

【緊急対応マニュアル】

RTC(龍ヶ崎たつのこクラブ)

緊急対応マニュアル

【令和7年度版】



令和7年10月
龍ヶ崎市 教育委員会
文化・生涯学習課 RTC 事務局

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- ・ JSPO認定等資格がない指導者には、市独自の講習プログラム（DVD6枚：右図）を事前に受講することを義務化した。1ヶ月以内にすべてのプログラムを視聴し、テストに合格することを基本としている。
- ・ 毎年夏に市スポーツ協会が実施している「龍ヶ崎市スポーツ指導者講習会」にも積極的に参加するよう呼びかけた。



取組の成果

指導者の質を保障するために、県または市の講習プログラムを受講することを指導者に義務付けている。

総合型地域スポーツクラブに作成を依頼し、流通経済大学スポーツ健康科学部の教員らと作成した講習プログラムのDVD視聴と確認テストを受講することを必須とした。

（内容：①スポーツ振興 ②コーチング ③リスクマネジメント ④栄養 ⑤応急処置 ⑥ジェンダー）※38名受講

県が作成した地域クラブ指導者養成研修（オンライン）についても、なるべく受講するよう呼びかけた。※7名受講

今後の取組における課題

指導者の量の確保に向けて、ASFEELの茨城県地域クラブ人材バンクに募集をかけた所、近隣市町村・近県から応募があり、地域クラブ指導者として協力してもらっている。本市の取組に対し、興味がある方は登録をしてもらい、面接を実施しているが、中には地域クラブの趣旨を理解していない方もおり、面接で断った例もあった。



龍ヶ崎市
卓球 男女

募集人数:2名

【アスフィール人材バンクサイト】

課題への対応方針

今後も指導者の資質を高めるために、スポーツ協会主催の講習会等を随時紹介し、受講するよう呼びかけていく。

兼職兼業で顧問が指導している地域クラブは、教員の異動により地域クラブ指導が継続できないことも予想されるので、1人の指導者に負担がかかりすぎないように、指導者の人材を確保・育成していく必要がある。

また、ASFEELの茨城県地域クラブ人材バンクで募集をかける際に、より詳細に本市が求める人材について記載していく必要があると感じた。また、ホームページ等でも継続して発信したい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- ・市スポーツ協会で募集している「龍ヶ崎市スポーツ指導者」の活用
- ・部活動指導が可能な小学校教諭の兼職兼業
- ・民間クラブや総合型地域スポーツクラブがかかえる大学生指導者
- ・既存クラブチームにて指導経験がある教諭の兼職・兼業
- ・龍ヶ崎市在住で、他市で小・中学校に勤務している教諭の兼職兼業
- ・スポーツ推進員、部活動指導員の活用
- ・中学生指導経験がある市役所職員
- ・ASFEEL人材バンクの活用

指導者研修の内容

研修名	龍ヶ崎市スポーツ指導者講習会
講師	茂木 ゆういち (日本スポーツコーチング協会認定スポーツコミュニケーション アドバイザー・コーチ)
研修内容	指導に効果的なスポーツコーチング・コミュニケーションについて ・講義 ・ロールプレイ ・ワークショップ ・意見交流

指導者研修受講者の声

参加者

普段の自分の声かけについて振り返るとてもよい機会となった。大会等、熱くなってしまうような場面で、よく不適切な発言が聞こえてくる。指導者が意識を変えて、生徒へ普段から向き合っていく必要があると感じた。来年度も参加したい。

龍ヶ崎市スポーツ指導者講習会

「指導に効果的なスポーツコーチング ・コミュニケーションについて」

講師: 茂木 ゆういち

日本スポーツコーチング協会認定スポーツコミュニケーションアドバイザー＆コーチ

○日時 令和7年8月23日(土)

午後1時30分から午後3時30分(受付:午後1時から)

○場所 龍ヶ崎市役所保健福祉棟 3階

(多世代交流センター RINK コミュニティホールA・B)

参加費
無料

■経歴

ホット・コミュニケーションズ代表

国際コーチング連盟認定コーチ (ACC)

日本スポーツコーチング協会認定スポーツコミュニケーションアドバイザー
＆コーチ

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更新研修講師 (20回/年 開催)

茨城県スポーツ協会主催 公認スポーツ指導者更新研修講師 (延10回以上)

新潟県スポーツ協会主催 公認スポーツ指導者更新研修講師



【指導者講習会チラシ】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

- 本市が抱える地域クラブ指導者61名は下記に示すいずれかの資格を所有している。
 - ・ JSPO公認コーチ
 - ・ 茨城県地域クラブ指導者養成研修
 - ・ 龍ヶ崎市地域クラブ指導者プログラム受講
 - ・ JBA公認指導者ライセンス保持者

指導者総数	61人
資格所持指導者数	61人
本年度資格を取得した指導者	38人

平日・休日の一貫指導に関する取組

種目ごとの取組

- 野球・サッカー・陸上

この3種目に関しては、地域クラブ指導者が平日も休日も練習を実施することができている。部活動顧問とは、活動計画や会員の出欠・活動内容が分かるよう、毎日日報を記入し共有を図っている。また、生徒指導面でトラブル等が発生した場合には、当該校へ主催クラブのマネージャーが訪問し、情報共有をしながら生徒・保護者対応をしてきた。

- ソフトテニス

休日は民間クラブ指導者になるが、中学校の顧問が兼職兼業として民間クラブに指導者登録をしているので、休日の活動内容を顧問が把握し、平日の練習に活かしている。また、休日の地方大会にも地域クラブ指導者が参加し、顧問と共に生徒の指導に当たっている。

- バasketボール

地域クラブ指導者として、兼職兼業顧問や中体連専門部理事、教育委員会職員がいるので、毎週、地域クラブ練習の際に情報（右図）を共有している。地域クラブ指導者が中体連の大会にも審判として参加するので、そこで顧問と情報交換して連携を図ることができた。

各校スケジュール

試合等の予定がある場合は、詳細を入力してください。

	地域クラブ	RTC練習無し	
入力例			
	能ヶ崎	詳細	※大会名、場所、日
18日(土)	練習試合	城ノ内中にて9:00~12:00	
19日(日)	合同練習	城西中にて13:00~16:00	
25日(土)	地方大会	県南選抜、1日（たつのこフィールド）	
26日(日)	練習なし		
	能ヶ崎	詳細	中根台 詳細
18日(土)	練習試合		練習なし
25日(土)	練習なし		練習なし
	能ヶ崎	詳細	中根台 詳細
8日(土)	練習試合		練習なし
15日(土)	地方大会	県南オープン大会	地方大会 県南オープン大会

【各学校の練習予定を把握するスプレッドシート】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

市内にある流通経済大学のバスケットボール監督に協力してもらい、地域クラブの指導をお願いした。

市新人戦を共に視察し、中学生の実態について把握してもらった。また、大学監督が以前中学生向けのクラブチームを指導していた経験もあり、定期的に中学生が大学施設で参加できる練習環境を整えた。

毎回チラシ（右図）を作成し、参加者を集約した。



【練習会お知らせのチラシ】

取組の成果

- 11月、12月、2月の3回実施した。参加を希望する中学生は地域クラブ会員のうち、約8割程度で、生徒の実態に即した練習メニューで2時間取組んだ。
- 市内にある大学施設を利用して、普段とは違う環境で練習することができ、生徒にとっても満足が高い内容であった。大学生と交流したり、普段使えないようなシューティングマシンも使用することができ、楽しく活動できた。
- 保護者も参観が可能で、参加保護者からは「基礎・基本から練習をしてくれてありがたい」「子どもにとっては、大学生と練習することができ、良い刺激になる」といった肯定的な意見が多かった。

今後の取組における課題

- 大学の体育館施設予約の関係で、活動時間が夕方の2時間であった。部活動とは違う時間帯の活動になるため、既に予定が入っている生徒は参加できなかった。
- 参加者が地域クラブバスケット会員の約半数であり、大学までの移動や参加費（1回500円）が課題となっている。
- 休日練習の場としてはよいが、平日の練習や大会の引率となると大学生では継続が難しい。



課題への対応方針

- 2回は夕方、1回は午前中に実施した。大学バスケットボール部と相談しながら、活動時間が変更できる場合は普段地域クラブ活動を実施している日中に活動できるように調整する。
- 参加費については、大学側と調整を図りながら適正価格を設定していく。
- 大学生のみの指導ではなく、地域指導者や兼職兼業教員と大学が連携をしながら、継続的なクラブ運営ができるような運営体制を整える。
- 平日に行われる大会に可能な範囲で大学生審判として参加してもらい、顧問との連携を図りながら生徒理解に努めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

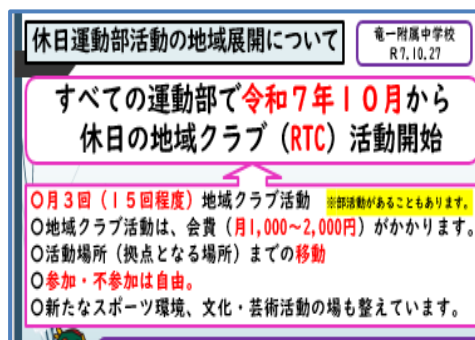
取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

本市には公立中学校5つと県立附属中学校が1つあるが、県立附属中学校の顧問や外部指導者から本市の部活動地域展開について質問を受け、参加を希望する声があった。

県立附属中学校の意向を確認する為に、当該校の管理職にヒアリングを実施し、県立附属中学校にて当該顧問向けに説明会を実施した。



【説明会資料】

取組の成果

県立附属中学校には、7つの運動部があり、市中体連にも4種目（野球・バレーボール男子・ソフトテニス女子・柔道）が大会参加をしている。また、陸上部については県南中体連に所属し、大会参加をしている実態がある。

県立附属中学校にて各顧問に全体説明をした後、個別に質問を受け、本市の地域展開について理解してもらった。附属中学校でも、チームスポーツの種目は人数確保が課題となっているとのことで、地域クラブでも活動できることを確認した。

ソフトテニス女子は、地域クラブ（ソフトテニス）を運営している民間クラブに数人が入会し、スクール生として活動を開始した。

今後の取組における課題

- 県立附属中学校は、高等学校と一緒に練習をしている種目もあり、活動の機会は保障されているので、公立中学校部活動の実態と異なっており、合同チームや拠点校チームを組むには課題がある。
- 当該校にて説明会を実施した後、附属中管理職からは「いずれは龍ヶ崎市の地域クラブ活動に参加をしていくが、現段階では附属中学校単独で休日部活動を継続する」との返答があった。
- 教員の兼職兼業や拠点となる会場確保等、公立中学校のみ対象で進めてきた経緯があり、県立附属中については周知が不十分であった。

課題への対応方針

- 県立附属中学校と定期的に情報交換する機会を設けていく。また、県内の自治体で、県立附属中も一緒に地域展開している事例等についても把握していく。
- 市中体連専門部に附属中学校の顧問も参加しているので、附属中の部員数や活動の状況を聞きながら、柔軟に対応していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

毎年行われている市スポーツ協会主催の「龍ヶ崎市市民スポーツ・レクリエーションまつり2025」に参加し、「部活動地域展開説明ブース」を設け、参加した小中学生や保護者の質問に答える場所を設けた。その旨、右チラシに記載してもらい、市民や児童・生徒へ呼びかけた。



【龍ヶ崎市 市民スポーツ・レクリエーションまつりのチラシ】

取組の成果

- ・ 小学6年生の保護者から部活動地域展開の現状についての質問が多かった。
- ・ イベントに参加した中学生から、自分が在籍している種目の今後について質問があった。
- ・ 地域クラブ指導者が別のイベントブースを出展しており、事務局と情報共有することができた。
- ・ 県のコーディネーターや関係職員も参加され、本市の取組について共有することができた。

今後の取組における課題

- ・ スポレクに参加した小学生や中学生、保護者等約20名程度からの個別に質問を受けた。全体的に質問者が少なかった。
- ・ 質問の中には、中体連の地域クラブの要件や地方大会の参加条件に対して意見を述べてくれる方もいた。
- ・ 雨天であったため、室内の端のスペース（右図）で2時間のみとなってしまった。終了後に質問をしにきた保護者もいた。



課題への対応方針

- ・ これまで各中学校で保護者説明会や児童・生徒向けの説明会は適宜実施してきたが、特に保護者が知りたいことは、自身の子どもが関わる種目に特化している事を痛感した。スポレクだけでなく、スポ少のイベントや地方大会、中学校等、保護者や児童・生徒が集まる場で、同様な説明ブースを設けていく必要がある。
- ・ 保護者や生徒の意見について、県保健体育課担当者や県コーディネーターには伝える機会があったが、中体連事務局や地方大会主催者に対して、保護者や生徒からの意見として伝達する場面を設けていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

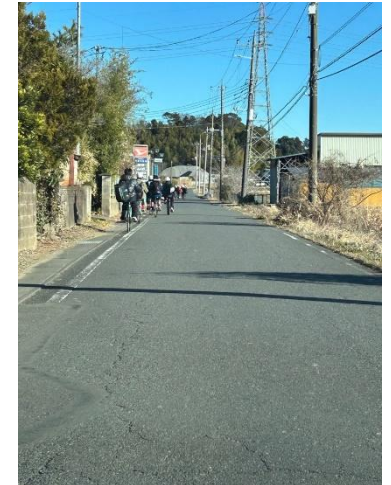
- NPO法人クラブ・ドラゴンズが運営団体であるサッカー「FC RYUGASAKI」が夏と冬に大学施設を利用して合宿を行った。大学内の室内練習場を使用し、防寒対策をしたり、夜間は照明がついている施設で練習したりと普段とは違う環境で練習に取組んだ。

FC 冬合宿 2025 実施要項			
【日時】 2025年1月11日(日)～12日(月)			
1/11 9:30	流通経済大学自習館 集合(教職員駐車場)		
1/12 16:30	たつのこフィールド 解散		
【場所】 練習場所：流通経済大学施設、かわちスポーツパーク、たつのこフィールド 宿泊場所：流通経済大学 自習館(教職員駐車場)			
※施設移動はジョギングか自転車です。自転車の方は必ずヘルメットを着用し、大学下の学生駐車場に駐輪しましょう。			
【対象】 DTC 役職選手(陸上 高校生)・FC RYUGASAKI(サッカー 中学生)			
【料金】 宿泊代と食費込み 7,000円 当日現金支払い 1日参加(昼食付・宿泊なし) 1日/3,000円 ※半日参加の場合も一律3,000円になります。			
1/11(日)		1/12(月)	
午前	【流通経済大学自習館】 9:30～10:00 受付	起床 6:45 散歩 7:00～8:00 朝食 8:00～9:30 片付け・清掃 10:00 退館 ※宿泊荷物を持って移動	
【流通経済大学室内練習場】 10:00～11:30 午前練習		【たつのこフィールド】 10:45～ 試合準備	

【合宿要綱】

今後の取組における課題

- 合宿場所の大学とサッカーの練習会場が多少距離があり、自転車での移動が必要であった。指導者の伴走支援が必要であった。
- サッカーはクラブ・ドラゴンズが運営団体となり、新たな価値を創出できたが、他種目が同様な合宿を行うことが難しい現状である。



取組の成果

- 合宿の最終日には、近隣のサッカー部と練習試合を設定し、生徒にとっては良い運動機会となった。
- クラブ・ドラゴンズが運営する野球チーム「龍ヶ崎ドラゴンズ」、陸上クラブ「Dragons TC」も同日に合宿参加し、大学施設内で多種目の練習に取組むことができた。
- 体験会へ参加した生徒は皆、肯定的な回答であった。



課題への対応方針

- いくつかの種目が一緒に合宿を行う等、担当者の負担が減る方法で実施する方法を検討していく。
- 今後、他市でも地域クラブが増えていく予定であるので、地域クラブ同士交流できる大会等を企画し、新たな価値を創出していく。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 直営型……………休日：月1,000円
- 既存団体運営型………休日：月2,000円
- ※ 平日も練習を実施している種目については、その団体が設定している会費
- ※ 保険は「龍ヶ崎たつのこクラブ保険」年間700円（今年度は市で負担）

【保護者向けの保険案内資料】

龍ヶ崎たつのこクラブ保険のご案内

龍ヶ崎市では部活動地域展開に係る指導者・生徒を対象に以下の内容で保険に加入しています。万が一のときは遅滞なくご連絡ください。

保険の対象となる主な事例

【傷害事故】

1. 活動中に転倒して受傷、出血がひどく病院へ運ばれた。
2. 活動終了後、帰宅途中に交通事故で入院した。

【特定疾病事故】

1. 活動中に熱中症で倒れ、救急車で搬送された。
2. 活動中に飲まれた仕出し弁当で食中毒が発生し、帰宅してから腹痛で病院へ行った。

【賠償事故】

1. グラウンドで活動中に、蹴ったボールが他の活動をしている来校者にあたりケガをさせた。
2. 打ったボールが借りた施設の外まで行ってしまい、通行人にあたってケガをさせた。
3. 活動のために借りた用具（楽器等）を落として壊してしまった。

補償対象の範囲

1. 指定活動場所での活動中
2. 指定活動場所への往復中

取組の成果

- ・ 直営型については、低廉な会費を設定したことで、会費についての問い合わせはなかった。
- ・ 直営型の種目については、経済的困窮世帯の生徒への減免措置として全額免除とした。
- ・ 保険料については、市が負担することで、受益者負担の金額を下げる事ができた。
- ・ 部活動で使用している学校の備品を共有することで、地域クラブで新たに購入するものを最小限にとどめた。逆に地域クラブで購入したものは部活動で使用可能とし、共有のものとした。

今後の取組における課題

- ・ 直営型と既存団体型、さらには平日に行っている種目で会費に差があり、種目によっては保護者の負担が大きくなる場合が生じた。
- ・ 地域クラブで大会に参加をする場合、連盟・協会の団体登録料やユニフォーム代、大会参加費等の経費がかかってくる。
- ・ ふるさと納税やクラウドファンディングを活用し、資金を調達できるよう担当課とも検討したが、実施に至らなかった。
- ・ 会費の徴収方法が市から納付書を各家庭へ送付し、保護者が窓口を支払いにくる形になっているので、より効率的な方法を検討していく。

課題への対応方針

- ・ スポーツ庁から示された「休日の地域クラブ活動の活動費等の支援（補助単価）」を参考に、受益者負担金の妥当性を探っていく。
- ・ 今後、参加生徒数や地域クラブの活動回数によって、実際にかかってくる経費が明確になってくるので、根拠資料を基に金額を設定していく。
- ・ 会費を徴収している自治体が少なかったため、今後はよりよい徴収方法を他市の担当とも意見交換しながら進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

【収入】

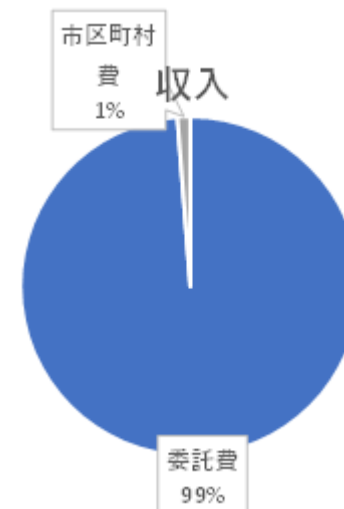
- ・庁内の使用料手数料検討委員会にて、人件費・物件費・原価償却費等を基にして、体育館・弓道場を使用している休日3時間分の年間使用料から原価計算を行った。その額の50%を受益者負担金とすることから、月1,000円の金額を設定した。（令和8年3月徴収）
- ・直営型種目に参加する経済的困窮世帯には、減免申請書の提出により、今年度の実施分は全額免除とした。

【支出】

- ・支出額の約3割を地域クラブ指導者への謝金に充てた。
- ・消耗品は、各クラブへの救急セットの購入や、ボール等のスポーツ用品を購入したことにより全体の2割を占めている。次年度も継続して使用できる物品なので、次年度の支出は減るものと想定している。
- ・雑役務費は、指導者の質を確保するために購入した指導者講習プログラムのDVDである。次年度も新規で指導者を追加する際にはこのDVDを研修に用いるので、次年度の支出はないものと考えている。
- ・来年度の支出については、より指導者の質を担保するための指導者研修会の実施に係る講師への謝金や、会場使用料の計上を検討中である。

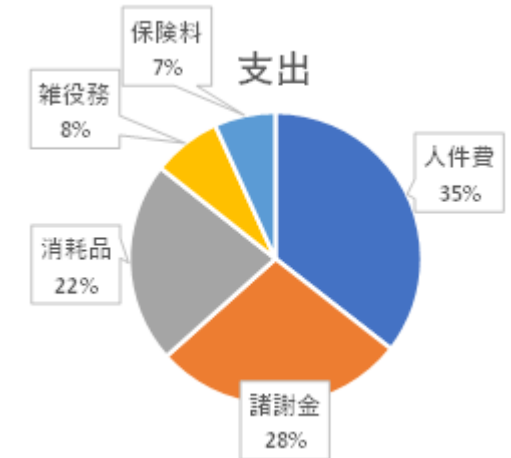
●収入

項目	費用	割合
委託費	4,293,440	99%
市区町村費	53,329	1%
合計	4,346,769	—



●支出

項目	費用	割合
地域クラブ活動費	2,801,169	64%
諸謝金（指導者）	1,209,600	—
消耗品費	967,569	—
雑役務	330,000	—
生徒・指導者保険料	294,000	—
事務局運営費	1,545,600	36%
人件費	1,545,600	—
通信運搬費	0	—
合計	4,346,769	—



【収支の円グラフ】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- 種目によって活動拠点となる中学校を決め、その種目は優先的に当該学校を使用できるようにした。
- 学校施設を地域クラブに優先的に開放できるよう、各中学校のホームページの「部活動計画」のシートに地域クラブ活動日（右図）を記載した。

(4月)		野球部		サッカー部	
		活動計画	活動実績	活動計画	活動実績
1日	水	休み	0:00	休み	0:00
2日	木	休み	0:00	休み	0:00
3日	金	休み	0:00	休み	0:00
4日	土	休み	0:00	休み	0:00
5日	日	休み	0:00	休み	0:00
6日	月	休み	0:00	休み	0:00

【部活動計画】

取組の成果

- 活動拠点を固定することで、保護者や生徒が毎回混乱なく会場まで移動することができた。
長山中・・・男女バスケットボール
龍ヶ崎中・・・女子バレーボール、柔道、弓道
中根台中・・・卓球
城ノ内中・・・男子バレーボール、卓球
- 各中学校の部活動計画ホームページに地域クラブ活動日を記載したことで、その日は優先的に地域クラブが中学校を使用することができた。

今後の取組における課題

- 学校行事や市の行事、地方大会の会場として中学校を使用する等、地域クラブが拠点校を使用できないことがあり、事務局の調整が必要となることがあった。右図のような各校の予定を記載できるスケジュール表を活用し、早い段階で生徒へ連絡できるよう工夫した。

各校スケジュール					
地域クラブ活動					
10月					
龍ヶ崎	詳細	城西	詳細	城ノ内	詳細
18日(土)	練習なし	練習なし	8:00~11:00	練習なし	
19日(日)				8:30~11:00	
25日(土)	練習なし	練習なし		その他	ビデオ審査予行
26日(日)			8:00~11:00		
12月					
龍ヶ崎	詳細	城西	詳細	城ノ内	詳細
6日(土)	練習なし			練習なし	
13日(土)	練習なし	練習なし		練習なし	
20日(土)	練習なし	練習なし		練習なし	

【各学校の練習予定を把握するスプレッドシート】

課題への対応方針

- 各中学校の体育館や校庭の利用状況をなるべく早めに事務局や地域クラブと共有し、保護者・生徒へ連絡をしていく。
- 野球やサッカーは市の施設、ソフトテニスや自前のテニスコートを使用しており、優先的に使える一方で、施設使用料が発生するので、時には中学校を開放する等して会費を低廉におさえられる工夫をしていく。
- 拠点校まで家族が送迎できずに地域クラブに参加できない生徒がいたため、拠点校をローテーションにしたり、市内の中心部の学校を拠点校に変更したりと工夫していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

- 学校施設を利用する団体には、事前に当該校の校長へ施設利用の申請（右図）を管理職と確認し、学校ごとに利用にあたっての注意点等を事前に確認できた。
- 卓球台やボールカゴ等、学校の消耗品・備品を地域クラブで共有させてもらったので、これまで鍵がかかっていた部室においていた備品等を体育館のフロア内に保管してもらい、毎回鍵の解錠をしなくても共有できるように工夫した。
- 地域クラブ指導者には、最低限必要な鍵を渡し、門扉等のダイヤルロック式の鍵ナンバーを事前に伝え、円滑に活動できるようにした。
- 教育委員会に各中学校の体育館の鍵を複製して保管しておき、地域指導者が欠席等で急遽必要な時には、事務局職員が対応できるように整備した。

中根台中学校屋外運動場（グラウンド）使用に関する基準

龍ヶ崎市立中根台中学校長

この基準は、龍ヶ崎市立学校施設の利用に関する規則（平成14年12月27日教委規則第16号）に基づき、学校施設である屋外運動場（以下「グラウンド」という）を住民の利用に供する場合の必要事項を定めるものとします。

1 グラウンドの利用日時

区分	利用時間	備考
土曜日	午前8時～日没	1 学校の休日及び祝日は、日曜日に準ずる。 ※長期休業中のみ平日午後も利用可（午後2時～日没） ※グラウンドを使用する活動があるときは、その活動が優先
日曜日	午前8時～日没	2 学校行事が行われる場合は、利用できない。 3 部活動の試合が行われる時間帯は、利用できない。 ※練習日の数日前、急に練習試合は入ることがあります。その時は、場所や時間の調整等、ご協力をお願いします。

【施設利用に関する基準について】

用具使用・管理等における取組

- 地域クラブ指導者から必要な用具や備品について要望を聞き、対応した。弓道地域クラブから「地域クラブの荷物を保管するロッカーがほしい」という要望があり、学校統廃合により廃校になった学校からロッカーを運び、弓道場横に設置した。
- 各地域クラブへ貸与した救急バッグについても、保管場所を部室や空きスペース等、学校の体育の授業や部活動の常時活動に支障がないように配慮した。
- 拠点校となる学校の備品や消耗品を使用させてもらっているので、地域クラブで購入した備品や消耗品についても、部活動や体育の授業で使えるよう、共用物とした。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

- 様々な場面にて説明会実施
 - ・ 市校長会にて説明（3回）
 - ・ 市教頭会にて説明
 - ・ 市教務主任会にて説明（2回）
 - ・ 各中学校にて生徒・保護者向け説明会実施（5回）
 - ・ 龍ヶ崎市教育研究会にて市内全教職員へ説明（2回）
 - ・ 市中体連理事会へ参加・情報共有（4回）
 - ・ 各専門委員会に参加し、進捗説明（4回）

取組の成果

- ・ 校長会・教頭会・教務主任会等で適宜説明することで、地域クラブについて情報共有を図ることができた。各校にも月1程度訪問をすることで、個別に質問を受けながら情報共有を図った。
- ・ 市中体連理事会に参加することで、中体連の地域クラブに対する要件や部活動運営の実態について把握することができた。登録は4月中であるが、指導者や審判資格の取得は前年度より準備する必要がある。
- ・ 各種目の専門委員会へ参加することで、顧問のニーズを把握すると共に、地域クラブの詳細について、細かく伝達することができた。
- ・ 市教研にて市内全教職員へ説明の機会を設けることで、小学校の教員も部活動地域展開について把握することができた。

今後の取組における課題

- ・ 管理職、顧問、生徒、保護者に説明の機会を度々設けたが、部活動地域展開に対する理解度は個人差がある。
- ・ 部活動地域展開の概要については理解してもらえたが、各自、知りたい種目や内容が多岐に渡っており、要望も様々である。



課題への対応方針

- ・ 部活動地域展開に対する理解をさらに深めることができるよう、市ホームページ、スクリーン、通信等でさらに情報提供していく必要がある。質問フォームを設け、個別に対応していく必要がある。
- ・ 保護者や生徒、顧問のニーズも把握し、適宜地域クラブ指導者にも伝え、さらに連携を図っていく必要がある。ただ、過度な練習、勝利至上主義にならないよう、国のガイドラインに照らし合わせながら運営をしていく。
- ・ 事務局担当者が、直接保護者や生徒と話す機会を設け、地域展開に対する理解を深めていく。
- ・ 各中学校の部活動や休日地域クラブの様子を定期的に視察し、合意形成を図っていく。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

実証事業2年目であったが、昨年度の野球・サッカーの実証事業で出ていた成果や課題を踏まえ、全ての運動部活動で令和7年10月から地域展開することができた。休日が地域クラブ活動になることで、学校には無い種目に取組む生徒や引退した中学3年生が地域クラブ活動に参加できる、平日には人数が少ない影響でできないゲーム形式の練習が休日は毎週できる等、新たな価値を創出することができた。また、中学顧問の超過勤務時間が以前に比べ大幅に減り、教員の働き方改革の一助となっている。今後も顧問に頼らない、地域の指導者が主体となる持続可能な地域クラブの運営になるよう工夫を続けていく。

地域展開を開始するまで、各中学校へ幾度となく訪問し、管理職や顧問に理解してもらい、保護者会や市教研等で部活動地域展開について説明の場を設定したことで、様々な関係者間で理解を深めることができた。また、地域展開を開始するまで運営体制の整備や様々なスキームの構築等、庁内でも他課と連携を図ることが多々あったが、今年度から配置された部活動コーディネーターとも役割分担をしながら改革を進め、実行できたことは成果である。

今後は、地域クラブの継続的な活動ができるよう、事務局として運営体制をさらに整備していくと共に、活動内容の充実を図っていききたい。また、平日までの地域展開を見越した場合、さらなる予算や指導者確保が必要になってくることが予想される。専属部署の設立も視野に入れながら、生徒にとって満足がいく地域クラブ活動になるよう、行政・学校・地域で関係を深めながら改革を推進していきたい。

●成果の評価

- 令和7年10月より全ての運動部活動を地域展開できたことで、生徒にとってよりよい環境で練習することができ、部活動とは違う新たな価値を創出することができた。今後も生徒の満足がいく運営を実施していく。
- 生徒・保護者・顧問のアンケート結果からも、地域クラブ活動に対して肯定的な回答が多く、成果があったとみられる。
- 各学校での説明会やイベントで説明ブースを設けたことで、「部活動地域展開」に対する理解が深まっていることを実感する。一方で「会費をとって地域クラブとして活動するならば、勝利するのが当たり前」といった認識をしている場合も多々あるので、説明をくりかえしながら理解を求めたい。
- 低廉な会費を設定できたことで、当初の参加意向生徒よりも多くの生徒が地域クラブ活動に参加することができた。種目によっては、地域クラブの活動を友達から聞き、途中から多数入会してくる場合もあった。
- 地域クラブ活動を実施しながら生じる課題に対し、その都度対応策を講じながら運営してきたので、大きな混乱なく地域クラブ活動を継続することができている。

●今後に向けて

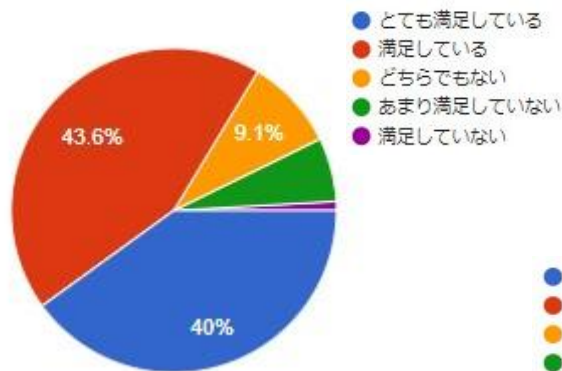
- 顧問と地域クラブ指導者で指導が異なり、生徒の混乱を招く場面があった。今後、さらなる連携が必要になってくる。
- 休日の地域クラブ活動は拡大する方向で考えているが、休日に行っている地方大会の参加規定が変わらない限り、部活動での出場となる。大会運営サイドとも交渉をしていき、部活動地域展開を加味した内容に変更していく必要がある。
- 平日の部活動地域展開については、実施できている種目が4種のみである。地域クラブの運営についてさらに検討していきたい。

2.実証内容と成果②

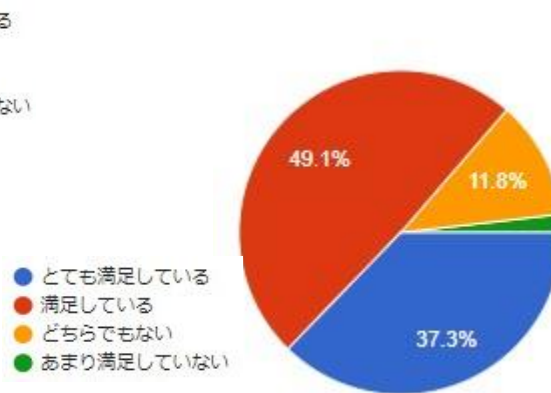
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

Q.休日地域クラブの練習内容について満足度を教えてください（生徒）



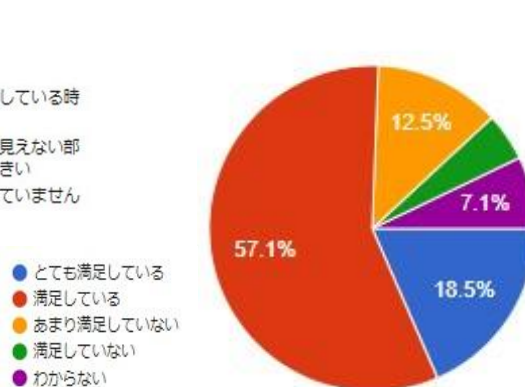
Q.休日地域クラブの総合的な満足度を教えてください（生徒）



Q.休日運動部が地域展開されて、働き方は変わりましたか？（顧問）



Q.休日地域クラブの総合的な満足度を教えてください（保護者）



【生徒、保護者、顧問へのアンケート調査】

●参加者/関係者の声

参加者/生徒①

他の学校の生徒と交流しながら練習ができて、とても楽しいです。部活動より専門的な指導を受けることができ、前より上手くなったと感じます。

参加者/生徒②

地域クラブ指導者が一つ一つ丁寧に教えてくれて、できたら褒めてくれるのがうれしいです。自分ができる所を伸ばすことができたから、とても満足しています。

部活動顧問

休日に部活動がなくなったので、かなり負担が減りました。週休2日となったことで、家族との時間が生まれました。今後も地域指導者と連携しながら、部活動改革を進めていきたいです。

保護者

部活動に代わって指導してくださり、感謝しています。他校の生徒との交流により、刺激を受けているようで、家でも筋トレをして頑張っています。引き続きよろしくお願い致します。

参考資料



RTC LETTER

VOL. 1

OCTOBER 2025

龍ヶ崎市の中学校部活動地域展開に関する情報を定期的に発信します

いよいよ10月18日(土)より龍ヶ崎市休日部活動地域クラブ活動が始まります!(龍ヶ崎たつのクラブ、通称:RTC) 学校部活動の大きな転換期です。活動の場をこれまでの学校から地域へ広げることで、子どもたちが新たな仲間と、やりたかった活動を経られる環境をつくっていきます。地域の指導者の皆さんと一緒に、子どもたちの成長を支えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

初回練習日は10月18日(土)です! 既存団体運営型種目は常時活動中!

運営型種目(以下7種目)の一覧です。参加する種目の練習場所や練習時間を確認してください。

種目	練習場所	練習時間	持ち物
男子バスケットボール	長山中学校 体育館	8:00~11:00	バッシュ、飲み物、タオル
女子バスケットボール	長山中学校 体育館	9:00~12:00	バッシュ、飲み物、タオル
男子バレーボール	城ノ内中学校 体育館	9:00~12:00	シューズ、飲み物、タオル
女子バレーボール	龍ヶ崎中学校 体育館	8:00~11:00	シューズ、飲み物、タオル
卓球	中根台中学校 体育館	9:00~12:00	ラケット、シューズ、飲み物、タオル
	城ノ内中学校 体育館	9:00~12:00	ラケット、シューズ、飲み物、タオル
柔道	中根台中学校 武道場	8:30~11:30	道着、飲み物、タオル
弓道	龍ヶ崎中学校 弓道場	9:00~11:00	持参できる人は弓、つる、矢、かけ、下掛け、敷布(女子)

参加を迷われている方は、10月18日(土)に練習体験ができます!(無料)
練習体験には、申込みが必要です。
右記のQRコードから申込みをして、当日練習場所に直接お越しください!



体験を希望の方はこちら

参加には入会届の提出が必要です!

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

参加を検討する 市のHPやスクリーン配信されている資料を参考に検討ください

入会届を準備する 各中学校の部活動地域展開コーナー(昇降口または職員室前)に設置されています

入会届を提出する 各中学校の教務主任の先生に提出(11月末まで)

スクリーンに登録する 初回練習参加時に「登録案内書」をお渡しする予定ですので、手順に従って登録してください。(野球、サッカー、陸上を除く)欠席などの連絡ツールとして利用します

運営型、既存団体運営型に関わらず、保護者加入するため、全ての種目に入会届の提出が必要になります。既存団体運営型種目(野球、サッカー、陸上、ソフトテニス、剣道)の練習詳細については、市のHPやスクリーン(9月4日・自治体の便り)の資料を参考にしてください。なお、お問い合わせは各クラブへお願いいたします。

龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課

【RTC通信1号】



RTC LETTER

バスケットボール 地域クラブ 通信

2025.11.26

文責:

流通経済大学で練習会実施!

11月22日(土)流通経済大学にて、練習会を実施しました。各学校でインフルエンザが猛威を振るった週末でありましたが、市内5中学校から男子は9名、女子は3名の参加がありました。夕方の短い時間の開催にも関わらず、ご参加ありがとうございました。

市内にある大学ですが、ほとんどの生徒が初めて訪れたようです。入学の素晴らしい施設で、流通経済大学の監督から2時間、基礎トレーニングをじっくり行いました。基本スタンスやボールの保持、ピボット、ドリブル練習などにポイントが明確に示され、指導を受け、とても充実した内容で、生徒の皆さんも多くの学びがあったことと思います。部活動の時間も短くなり、基礎・基本について学ぶ時間を部活動で確保するのは難しいと思いますので、ぜひRTCでスキルアップしてください。今後機会があれば、流通経済大学にて、大学生も交えてRTCの練習を実施していく予定です。皆さんの指導者からたくさん学ぶことを学んでいきましょう。



指導者紹介

コーチ(流通経済大学男女バスケット部総監督)

- アシスタントコーチ
- 1コ、チンダウ
- JBA公認 A級コーチライセンス
- ヘッドコーチ

今後の予定

今週末11月29日はRTC練習はありません。

次回は12月6日(土)

8時~10時 男子バスケット 新体育館
10時~12時 女子バスケット 新体育館

12月は5日、13日、20日の3回を予定しております。
中学校部活動で出場するIBAリーグがある関係で、状況によっては「RTCの練習が中止」になることもあります。その際はスクリーンにて連絡いたします。
※新体育館は初回になります。
練習場の場所はこれまでと同様になります。

【RTC通信 バスケットボールクラブ】

2.実証内容と成果④

参考資料



【女子バスケットボール地域クラブ】



【弓道地域クラブ】



【ソフトテニス地域クラブ】



【卓球地域クラブ】



行政 topics - 市からのお知らせ -

部活動の地域展開のお知らせ
10月から、休日の中学校の部活動(運動部)を地域クラブで実施

本市では、10月から休日の中学校の部活動(運動部)を、学校ではなく「地域クラブ」で実施します。これは、国主導で進んでいる「部活動の地域展開」に対応したもので、これまで学校が主体となっていた部活動の指導を、地域のスポーツクラブや団体に移行する取り組みです。
 背景には「少子化による生徒数の減少」「生徒・保護者のニーズの多様化」「働き方改革による教員の負担軽減の動き」があり、全国的に部活動を学校から地域での活動へ移行する方針が、国や県から示されています。

休日は「地域クラブ」で活動

- 休日の部活動(運動部)地域クラブは、「鹿ヶ崎たつのこクラブ」(略称: RTC)という名称で活動します
- 今年度は休日の活動のみ移行対象です。休日は部活動を実施せず、希望する種目の地域クラブで活動します

参加者	市内の生徒で参加したい方
場所	各種目のクラブが設定した学校・施設など
指導者	地域クラブ活動指導者(教職員や地域の方々など)

※ 学校で参加する大会・練習試合などは、休日に行う場合があります

● 運営は、鹿ヶ崎市教育委員会が運営する形「運営型」と、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、民間団体など、市内にある団体が運営する形「既存団体運営型」の2つのタイプがあり、種目によって運営方法が異なります

鹿ヶ崎たつのこクラブ

運営型	既存団体運営型
運営団体▶市教育委員会	運営団体▶各クラブ
会費▶月1,000円	会費▶各種目ごとにクラブが設定
対象種目▶●バスケットボール●バレー●卓球●柔道●弓道	対象種目▶●サッカー●軟式野球●陸上●ソフトテニス●剣道
指導者▶教員や地域のスポーツ関係者	指導者▶地域のスポーツ団体が指導
練習場所▶主に学校施設	練習場所▶各クラブが設定した場所

より専門的な指導が受けられたり、休日だけの種目に参加したりできます

※ 保険代は運営・既存団体に問わず、市教育委員会が負担

Q&A

Q 参加方法は?

A 参加は任意です。事前に入会届を提出します。会費を払ってご参加ください。

Q 活動場所への移動手段はどうなりますか?

A 活動場所までの移動は、各家庭でお願いします。この部活動地域展開の参加はあくまでも任意で、会費も発生します。お子さんやご家庭のニーズに合うものがあれば、ご参加ください。

Q 平日の部活動はどうなりますか?

A 今年度は、休日のみ地域クラブとして展開していきます。平日の部活動は今まで通り実施します。

Q 途中で種目の変更はできますか?

A 変更できます。参加している種目の退会届を提出し、新たに参加する種目での入会届を提出してください。

Q 文化部も地域クラブに変わりますか?

A 文化部も、休日の活動として新たな文化・芸術活動の場所があります。詳細は市公式ホームページをご覧ください。

詳細は市公式ホームページや、お子さんが中学生の保護者は「スクリレ」をご覧ください。

【市広報紙りゅうほー 令和7年10月号】

2.実証内容と成果⑤

参考資料

**NPO法人
クラブ・ドラゴンズ
部活動地域展開
無料体験
開催!!**

【持ち物】
・水筒
・運動靴(スパイク可)
・運動着、防寒着
(学校ジャージ可)
※野球グローブをお持ちの方はご持参下さい。

FC RYUGASAKI (サッカー) 実施日：11/26(水) 17:30-19:30 11/30(日) 17:30-19:30 場 所：たつのこフィールド 【保護者説明会】11/30(日)19:00	龍ヶ崎ドラゴンズ (野 球) 実施日：11/29(土) 9:00-12:00 11/30(日) 9:00-12:00 場 所：龍ヶ崎中学校 【保護者説明会】11/30(日)11:30
--	--

龍ヶ崎市内中学校へ
在学中・進学予定の方対象

Dragons TC (陸 上)
 実施日：12/4(木) 17:30-19:30
 12/7(日) 9:30-12:00
 場 所：(木)たつのこフィールド
 (日)廣瀬記念グラウンド
 【保護者説明会】12/7(日)11:30

野球・陸上・サッカー等の
部活動へ入会検討中の方は
ぜひご参加ください！
(男女一緒に練習しています)
ご不明点につきましては、
保護者説明会の際に事務局へ
ご質問、ご相談ください。

体験会参加申込
要付中

※上記の無料体験会に事前申し込み、12/12までにご入会された方限定

12/12
まで!!

ご入会金が ▶▶ 通常1,000円
のところ... **0円!**

【クラブ・ドラゴンズ広報資料①】

～ 龍ヶ崎市部活動地域移行 龍ヶ崎ドラゴンズ ～

新入部員募集

1月10・11日
体験会開催!!
※事前申込をお願いします

龍ヶ崎中学校グラウンド TOKIWAスタジアム

小学3年生～中学3年生まで参加OK!
来年度の総体・新人戦へ向けて、一緒に練習しましょう!

開催日時 1月10日(土)・11日(日) 午前練 10:00～12:00 休 憩 12:00～13:30 午後練 13:30～16:30	開催場所 龍ヶ崎中学校グラウンド ※中学校校舎前に駐車場あり。 ※雨天時はご連絡いたします。
---	--

【通年練習スケジュール】
 ◆木曜日 時間) 17:30～19:30
 場 所) TOKIWAスタジアム
 ◆土曜日 時間) 9:00～12:00
 場 所) 龍ヶ崎中学校
 ※施設都合により、日曜実施の場合あり。

お申し込みはこちらから!
 午前のみ参加や、1日のみ参加もOK!
 【持ち物】
☐ グローブ(貸出有)
☐ スパイクor運動靴
☐ 水筒、昼食
☐ 運動着

龍ヶ崎市総合型地域スポーツクラブ
NPO法人クラブ・ドラゴンズ

TEL 080-7005-9946
毎週月曜定休日

【クラブ・ドラゴンズ広報資料②】

令和6年度から野球・サッカーの休日部活動地域展開を業務委託していたNPO法人クラブ・ドラゴンズが令和7年度は平日まで練習を開始し、部活動に代わる新たな環境で多くの中学生が練習できる場を整えた。サッカーについては、クラブチームを退会してこちらの地域クラブに入会してくる生徒も多数おり、当初に想定していた人数より多くの生徒が全中学校から参加している。

陸上も令和5年から中体連登録をしており、本市においては様々な場面で協力・連携をしているが、この度、JSPOが令和7年度から運用を開始した「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」のうち、「部活動の地域展開タイプ」として初めての「認証クラブ」となった。登録・認証制度の運用開始後、初めての認証クラブとして10クラブ全国から選ばれたが、その1つが本市にあることは部活動改革を進める上でとても大きな意味がある。

また、新たなスポーツの環境として、新体操や水泳、ゴルフやニュースポーツ等様々な場も提供している。これまで、適宜情報交換をしながら地域展開を進めてきたが、今後も連携を深めながら、部活動改革を進めていく。

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

令和7年

令和8年

ガイドライン策定
協議会設置
検討会開始

受け皿団体や
指導者の選定、
拠点校の選定

生徒、保護者、
顧問への説明

学校現場との調整
地域クラブ活動開始

地域クラブ活動
の拡大

平日の地域クラブ
活動について検討

● ステークホルダー

龍ヶ崎市部活動地域展開推進協議会

● 経過

スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ・流通経済大学、市中体連会長、校長会長等10名で組織される協議会を3回実施。

● 実施にあたって生じた課題

情報提供の場として、参加委員には共有できたが、各団体の関係者、指導者、保護者や生徒まで情報を伝達するには課題がある。

● 実施内容、工夫した点 等

協議会の委員の中に、地域クラブの実施主体として関わっている指導者をメンバーとして参加してもらったことで、中学生の現状や課題等、指導に当たる中で気づいた様子について、より具体的に情報共有することができた。

● ステークホルダー

学校（管理職・顧問・中体連）

● 経過

校長会・教頭会には昨年度に続き定期的に参加し、説明を行った。放課後の部活動を視察しながら、顧問から聞き取りを行った。また、市中体連の理事会や専門委員会に毎回参加した。

● 実施にあたって生じた課題

各中学校の実態が違い、合意形成を図ることが難しく、繰り返し訪問をして説明を行った。

● 実施内容、工夫した点 等

市ホームページで情報発信をするだけでなく、毎月地域クラブの広報紙を発行し、教職員・保護者へ配信した。各種目の専門委員会に参加し、それぞれの種目についての詳細を説明した。各中学校の教務主任を地域クラブ担当として、情報共有を図った。

● ステークホルダー

地域クラブ運営団体・実施主体

● 経過

地域クラブを実施後、日報に練習内容・参加生徒・特記事項等毎回記載し、データを事務局や顧問と共有した。保護者・生徒のアンケート回答結果を共有し、改善できる部分は対応に当たるよう依頼した。

● 実施にあたって生じた課題

学校間をまたがった生徒同士のトラブルが発生した際、学校や保護者が求める指導と地域クラブの対応に差異が生じ、不満につながる事例があった。

● 実施内容、工夫した点 等

10種目14団体の地域クラブ担当者・指導者に「龍ヶ崎市立中学校部活動地域移行事業実施要綱」を配付し、内容について理解を促した。繰り返し丁寧に情報共有を図っていく必要がある。



3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度	R12年度 2030年度	R13年度 2031年度
国の動き	部活動 改革期間	改革推進期間 休日の地域展開	改革実行期間 休日における学校部活動の地域展開の確実な実行・定着や平日における改革に取り組む					
			【前期】3年間			【後期】3年間		
龍ヶ崎市の推進計画	フェーズ	1.休日運動部地域展開 R7.10～	2.休日文化部地域展開、学校部活動数の適正化・削減			3.平日部活動地域展開		
	地域クラブ 体制整備	直営型・既存団体運営型のハイブリッド 市認定クラブの確保 クラブ新設支援、部活動の適正化・削減、事務局体制整備 地域クラブ運営支援、新たなスポーツ、文化・芸術活動の場の確保						
	指導者の確保	人材バンクの活用 顧問の兼職・兼業意向調査、市スポーツ指導者から選出、ASFEEL人材バンクの活用 指導者の質・量の確保、指導者研修会の定期的な実施						
	施設利用	学校施設の開放 移行先団体へのグラウンド・体育館優先貸し出し、市のスポーツ施設の利用、スポーツ用品共用 学校施設の地域活用の拡充、効率的な施設利用方法の確立						
	試合・大会	中体連対応団体立ち上げ 総合型地域スポーツクラブによる中体連対応クラブ設立 民間団体の中体連登録に向けての支援 中体連以外の協会主催大会への参加促進						
	教職員への 理解促進	定期的な情報共有 校長会・教頭会・市教研での情報発信、市中体連理事会への参加、各種目専門部への参加・説明 「改革実行期間前期」の成果と課題について公開、教職員の意識調査						
	保護者・生徒への 情報発信	ホームページ・スクリーンでの定期的な情報発信 保護者説明会・新入生説明会、地域クラブ通信を定期的に発行し、適宜情報共有 さまざまなステークホルダーとの情報共有						
	事務局	効率的な運営方法の確立 体制の検討・整備 ICTをフル活用した運営方法の確立、会費の納入方法検討 持続可能な事務局運営体制に向けた環境整備						
	コーディネーター 等の配置	人材の配置 事務局の運営、地域クラブとの連絡・調整、県コーディネーターとの定期的な情報交換 持続可能な地域クラブ運営に向けて人材確保、専属部署確立						

【協議会資料】